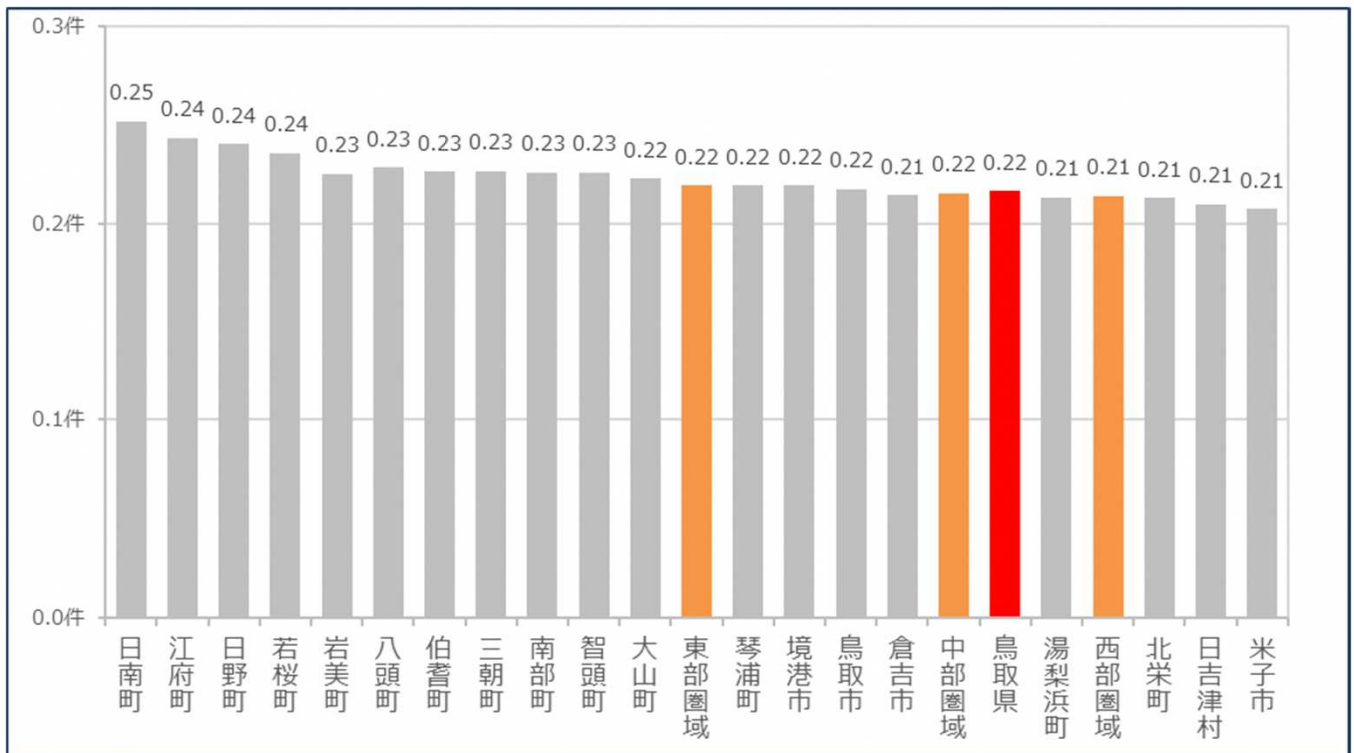


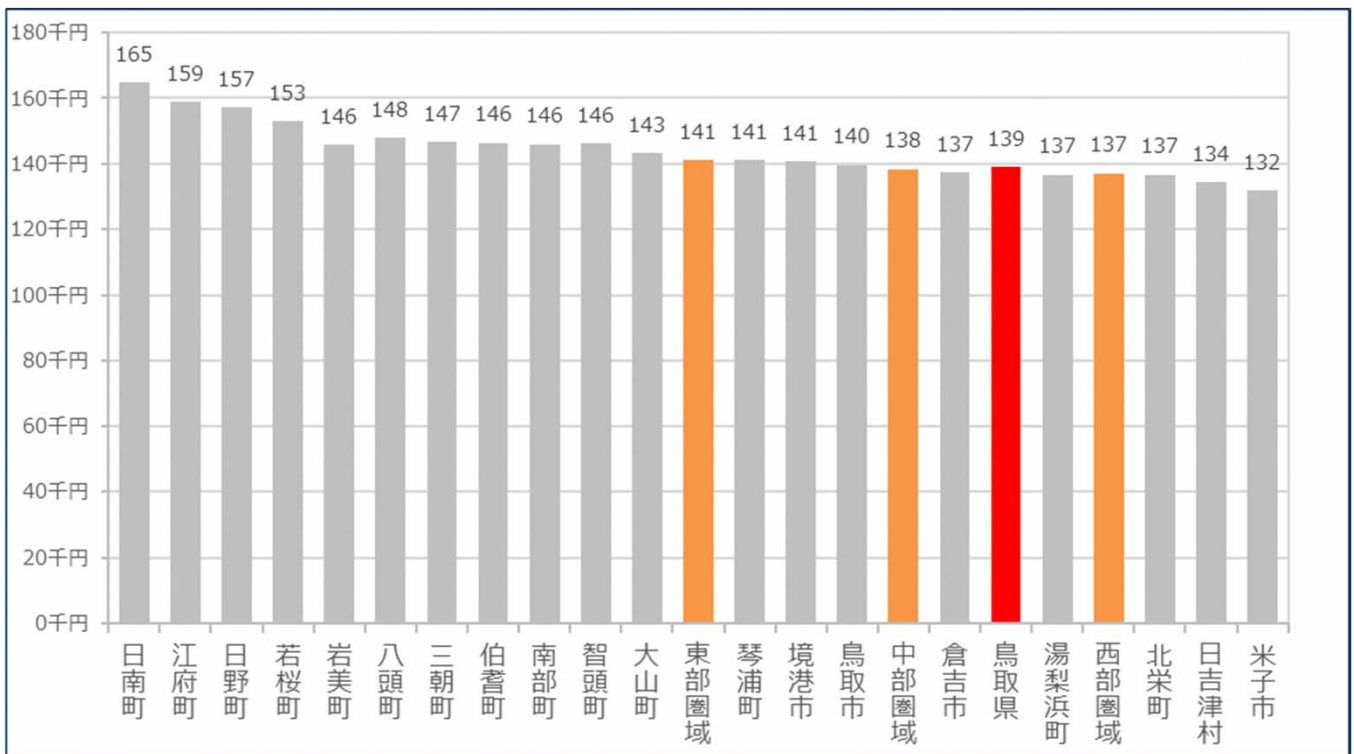
4. 医療の受診率・1人当たりの医療費（性・年齢調整値）

国保 医療・入院受診率（性・年齢調整値）（令和6年度）

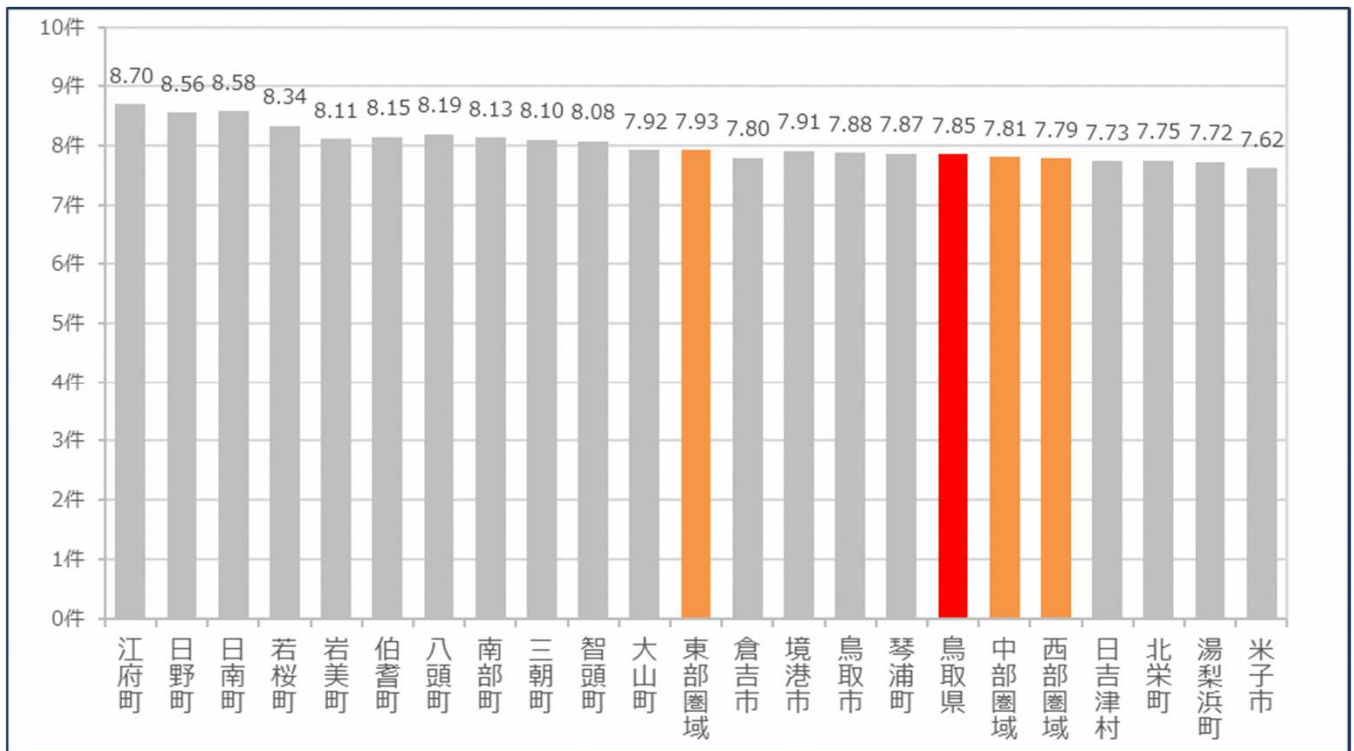


※入院受診率 = 入院レセプト件数/被保険者数

国保 医療・1人当たり入院医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）

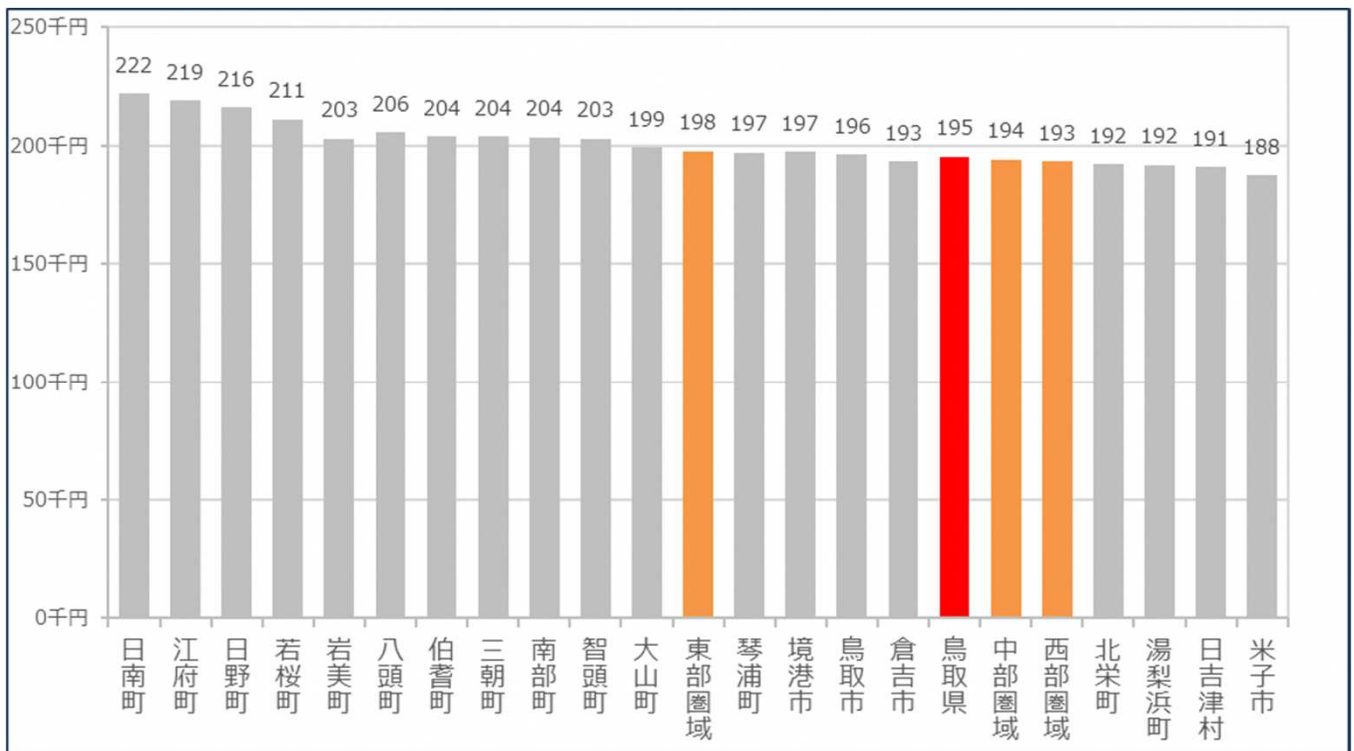


国保 医療・外来受診率（性・年齢調整値）（令和6年度）



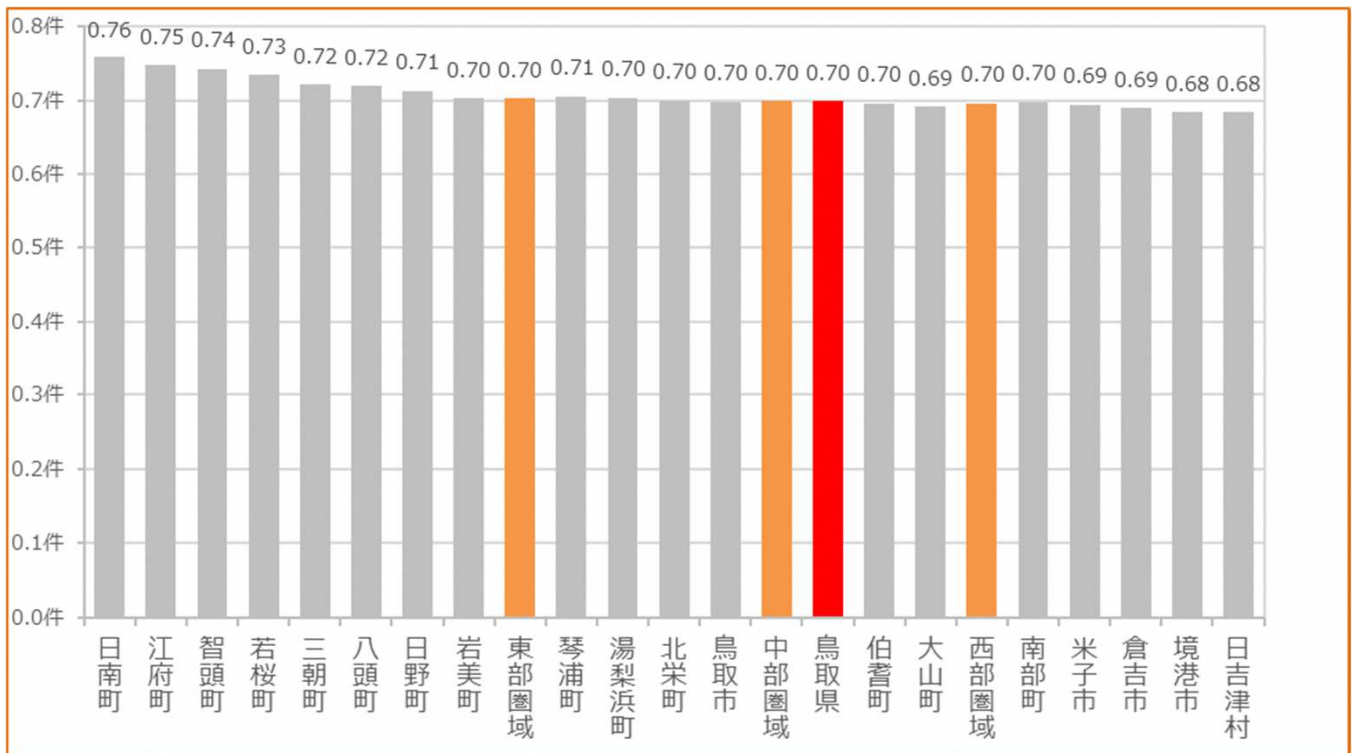
※外来受診率 = 外来レセプト件数/被保険者数

国保 医療・1人当たり外来医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）



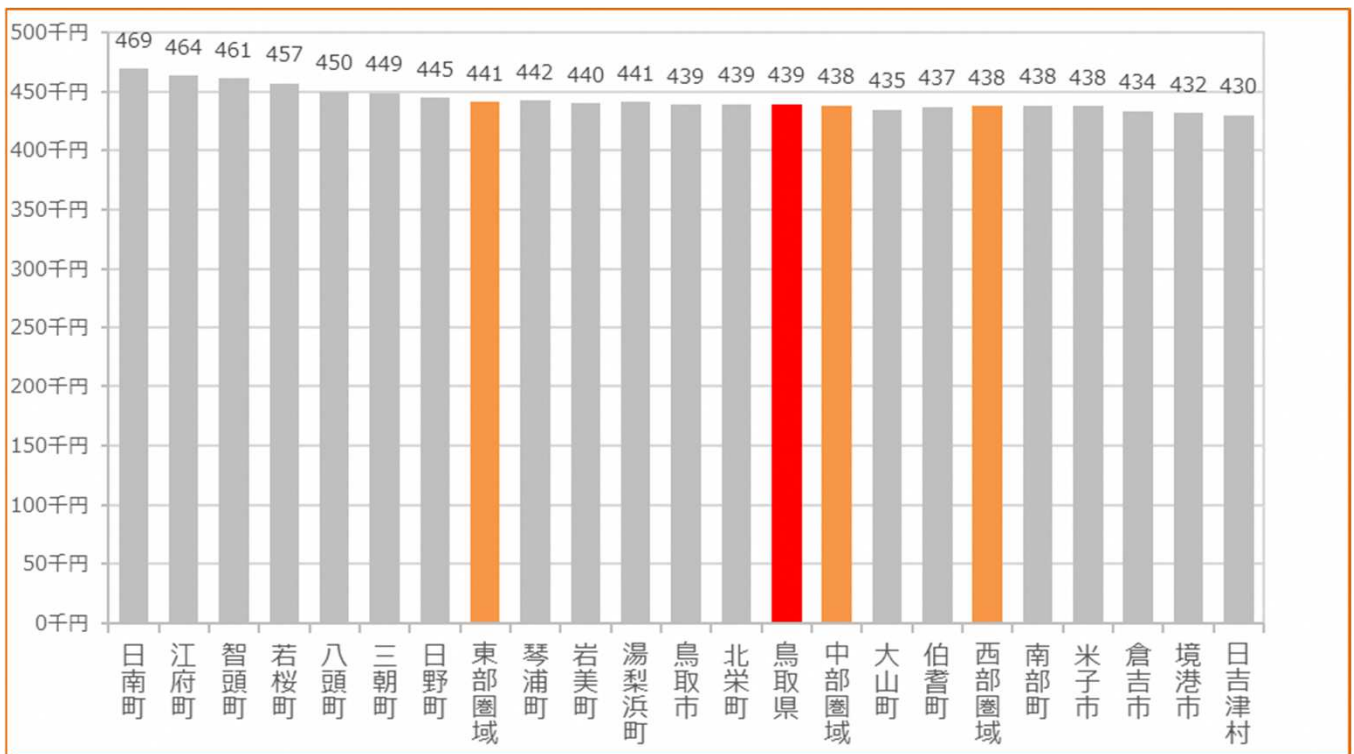
出典:KDB帳票No.88 健康スコアリング（保険者等一覧）（令和6年度）

後期 医療・入院受診率（性・年齢調整値）（令和6年度）



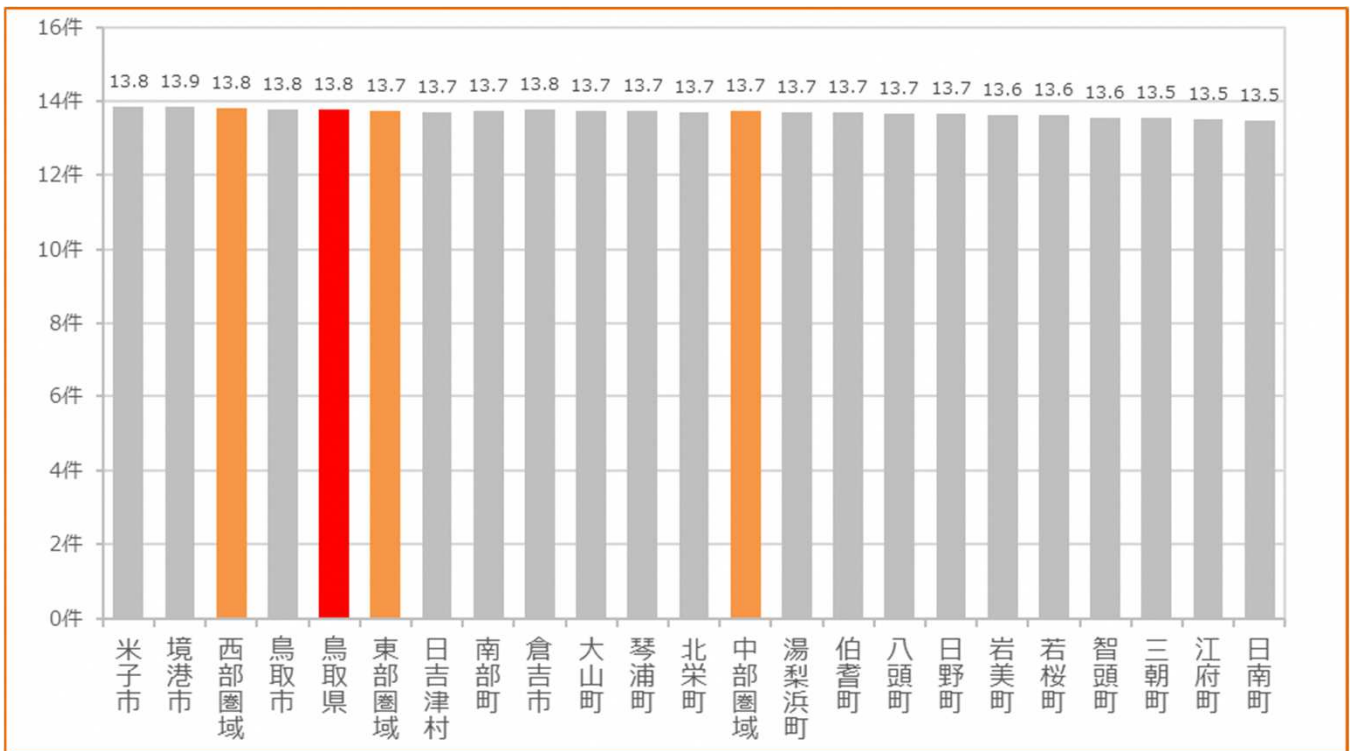
※入院受診率 = 入院レセプト件数/被保険者数

後期 医療・1人当たり入院医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）



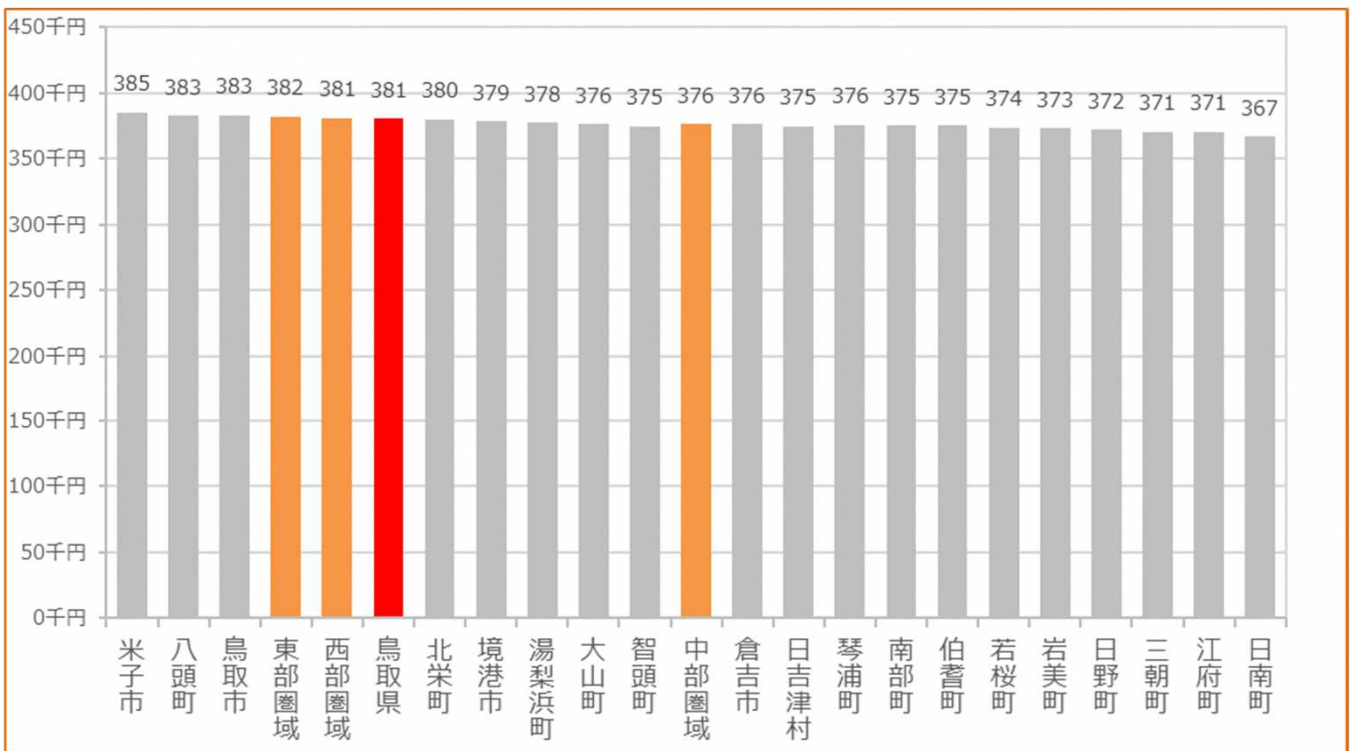
出典:KDB帳票No.88 健康スコアリング（保険者等一覧）（令和6年度）

後期 医療・外来受診率（性・年齢調整値）（令和6年度）



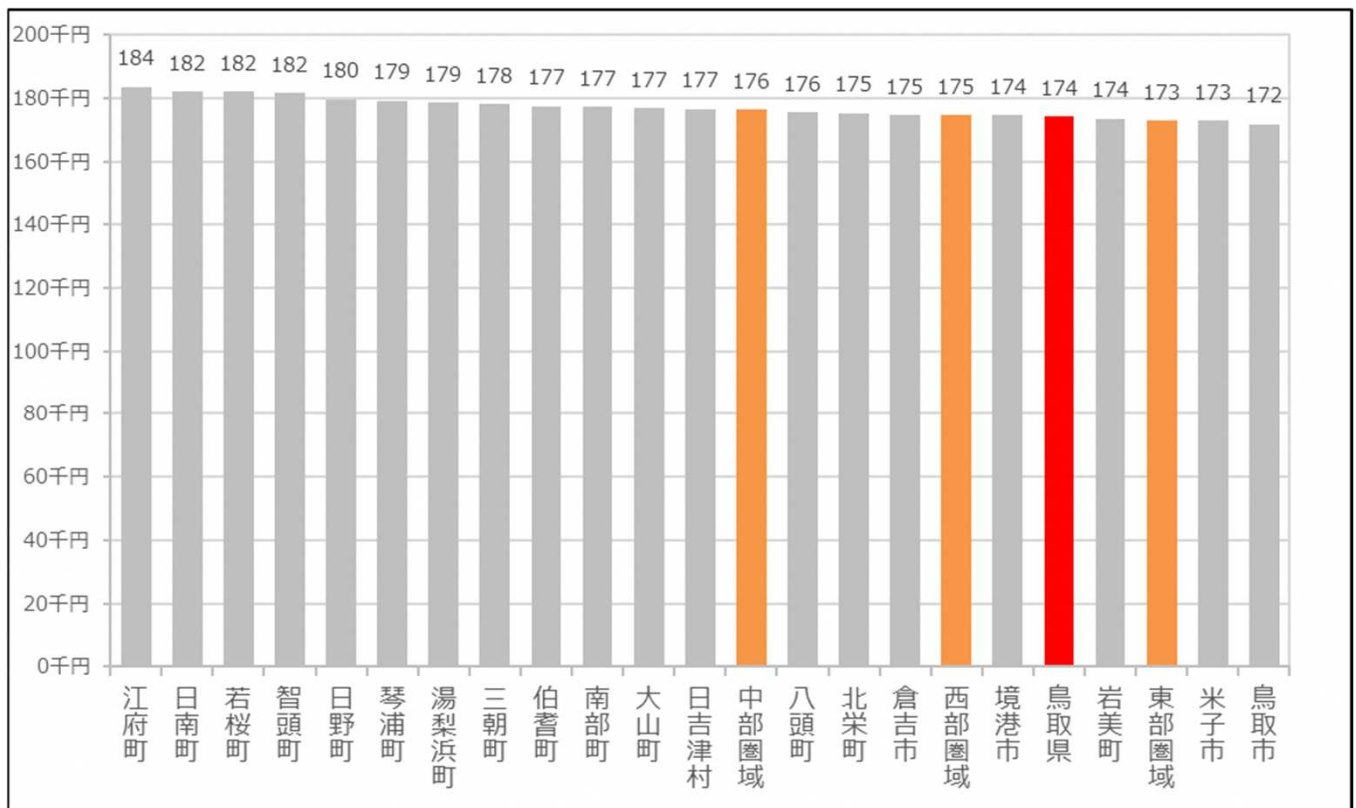
※外来受診率 = 外来レセプト件数/被保険者数

後期 医療・1人当たり外来医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）

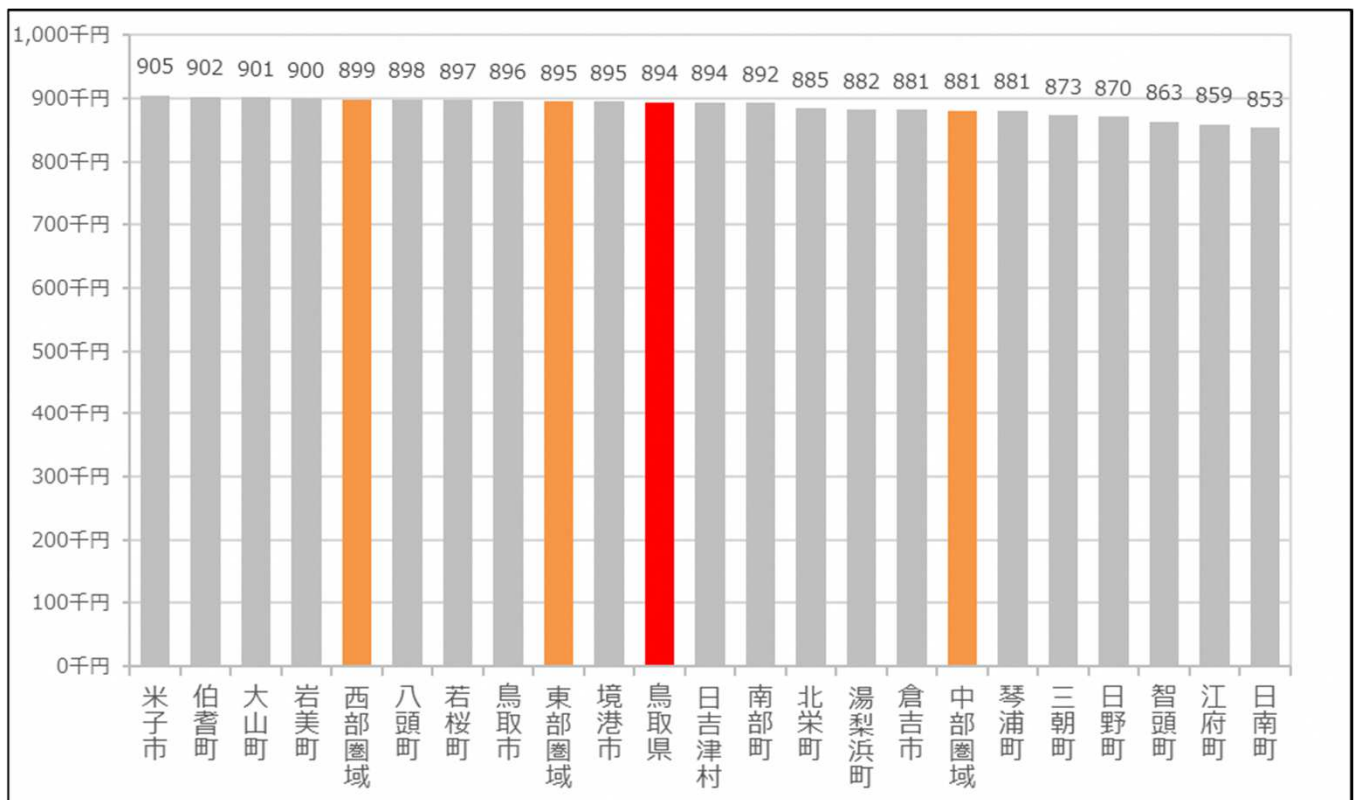


5. 要介護認定の有無による1人当たりの医療費（性・年齢調整値）

国保 **後期** 要介護認定なし・1人当たり入院医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）



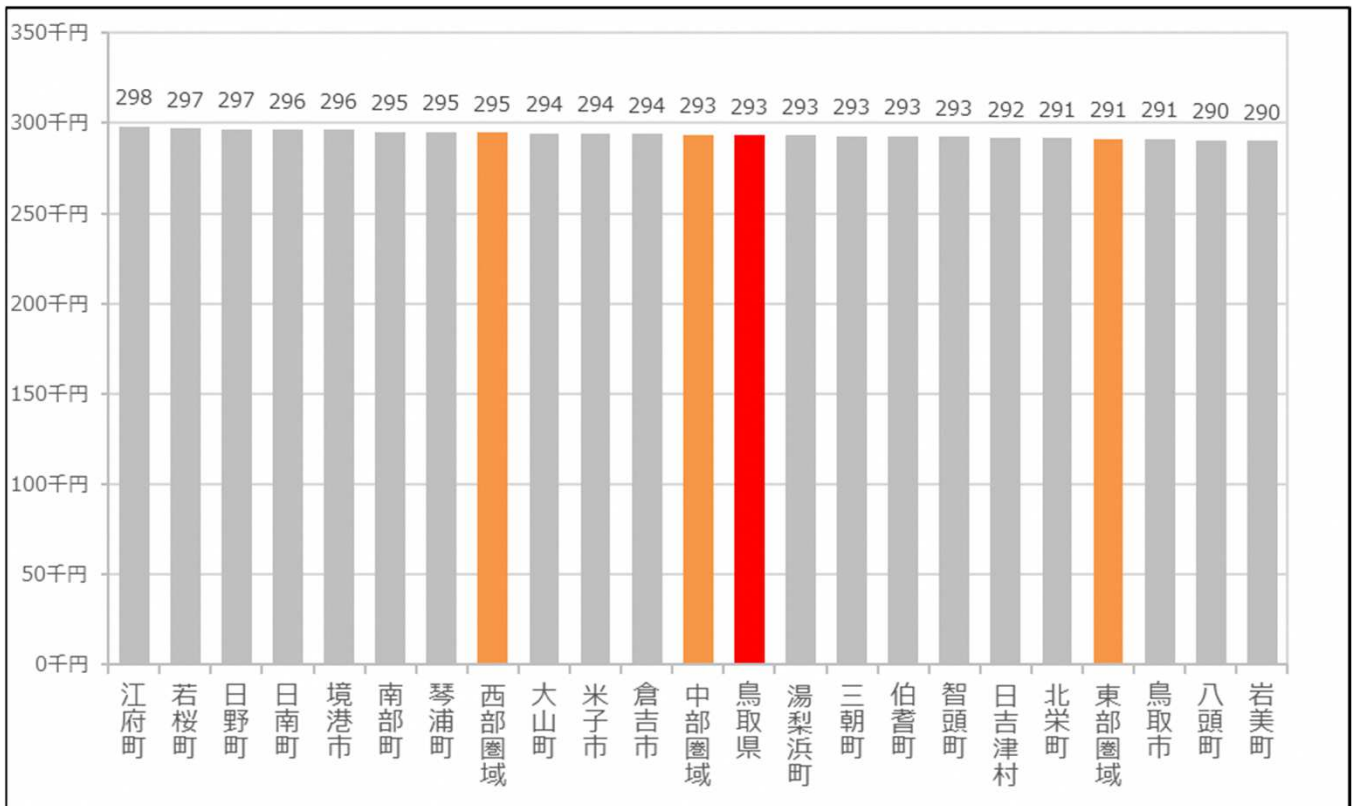
国保 **後期** 要介護認定あり（要支援・要介護）・1人当たり入院医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）



国保

後期

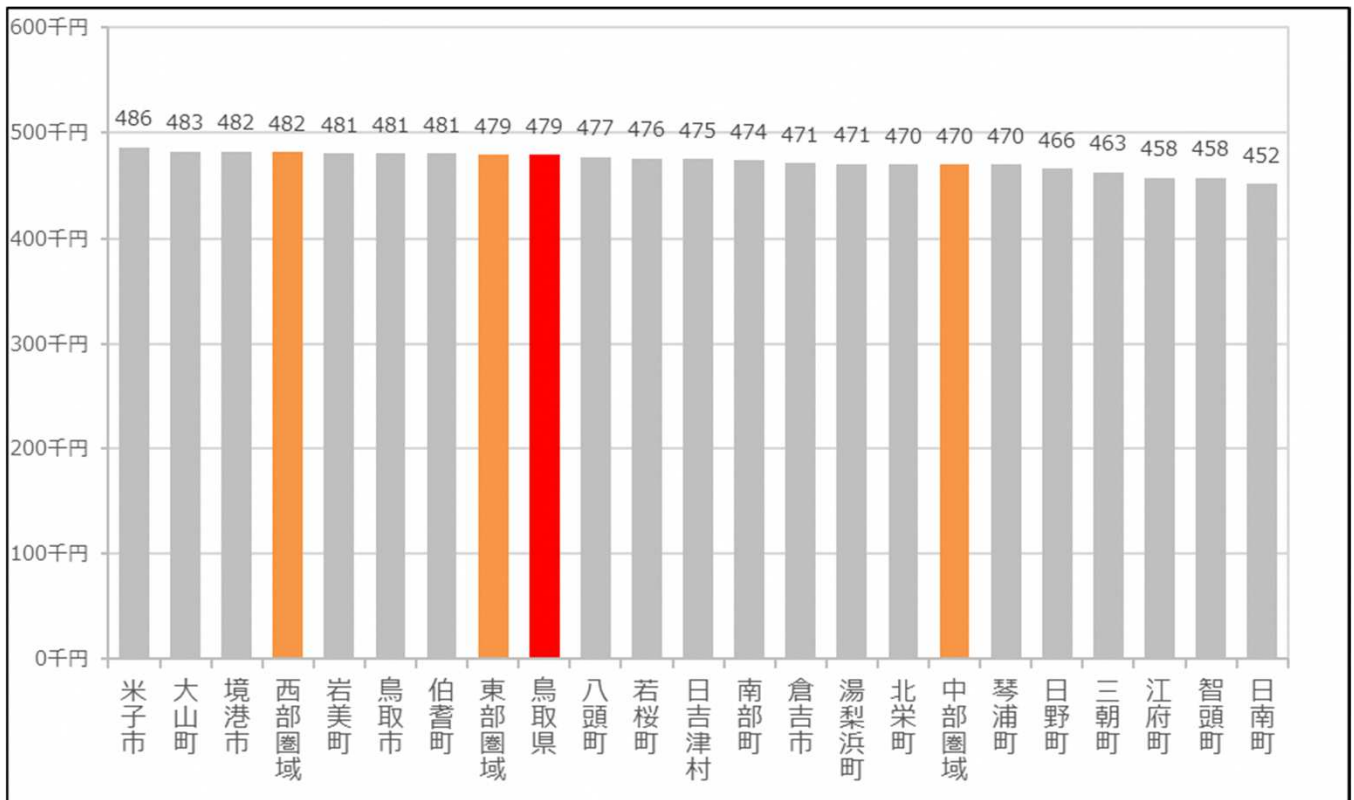
要介護認定なし・1人当たり外来医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）



国保

後期

要介護認定あり（要支援・要介護）・1人当たり外来医療費（性・年齢調整値）（令和6年度）

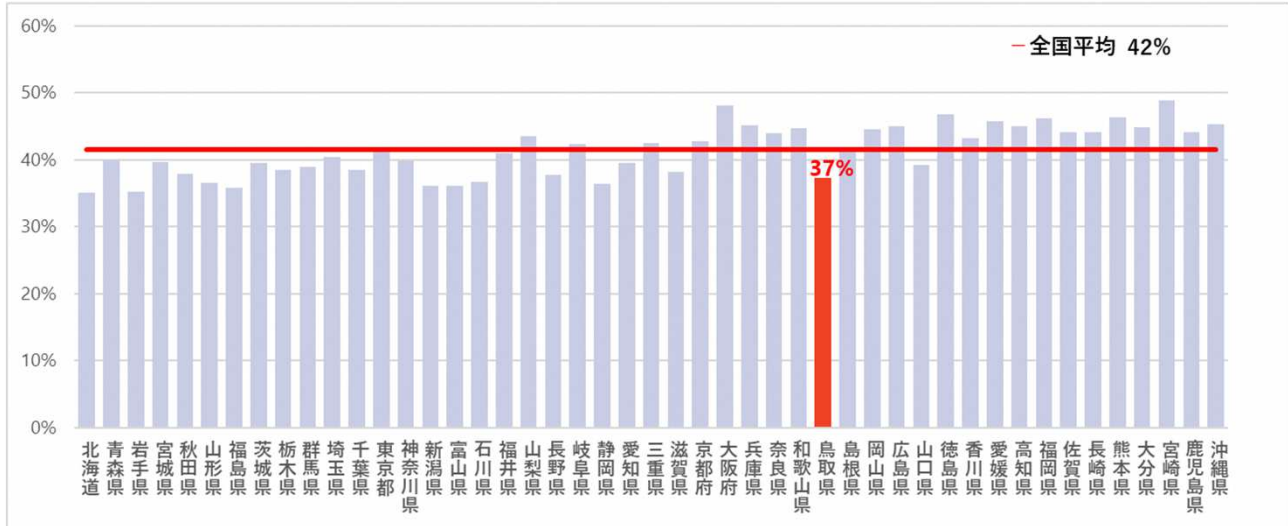


Ⅷ 鳥取県の医療費適正化の状況

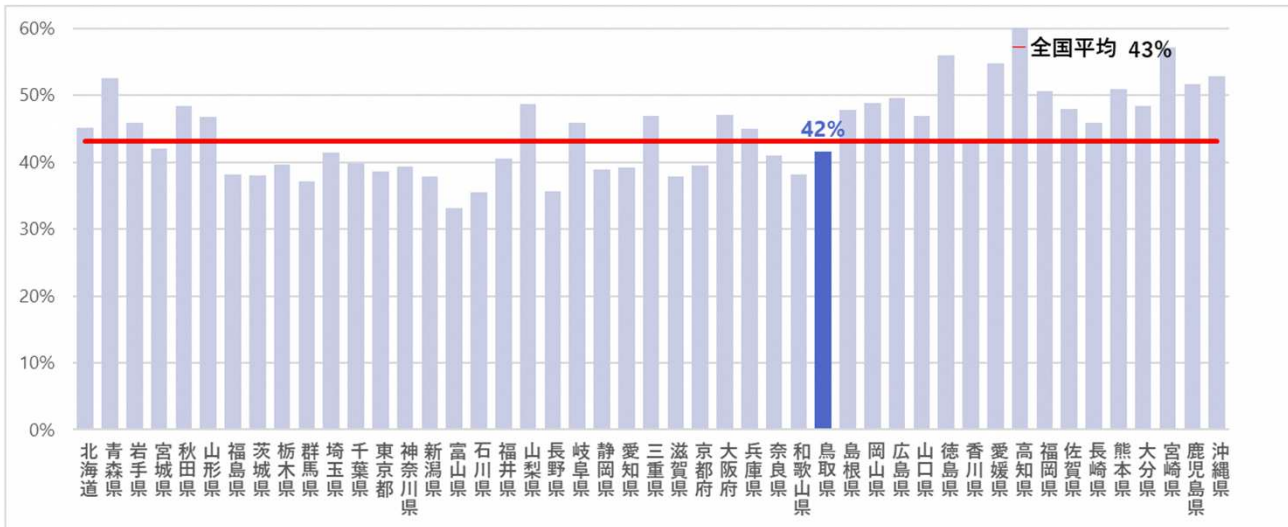
1. 医療資源の効果的・効率的な活用

(1) 効果が乏しいと指摘される抗菌薬の使用

■ 急性上気道炎に対する抗菌薬処方患者割合 全年齢（令和5年度）



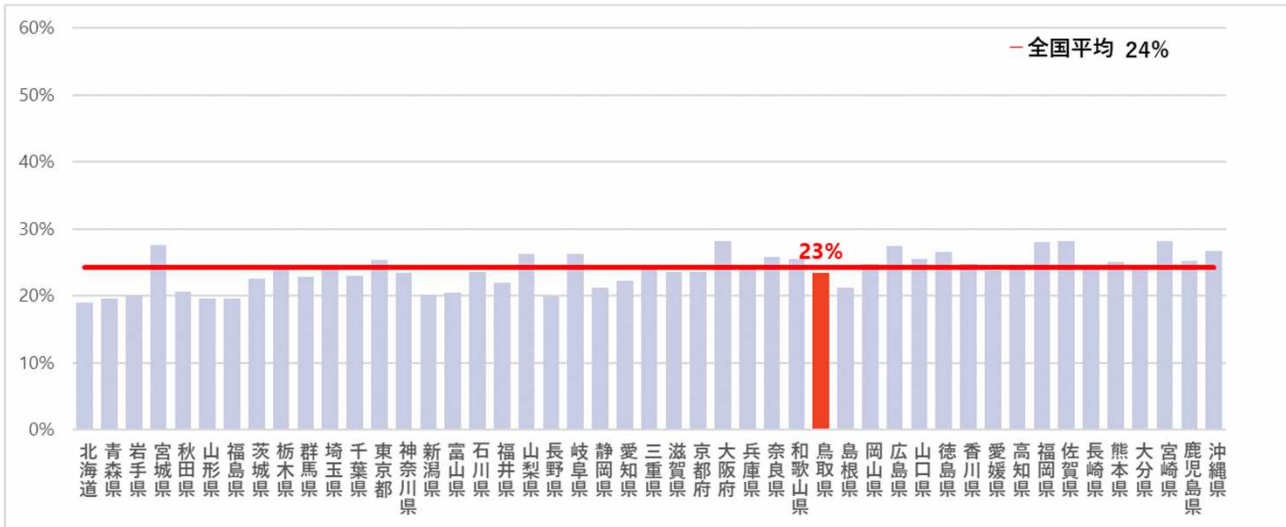
■ 急性上気道炎に対する抗菌薬処方患者割合 0～4歳（令和5年度）



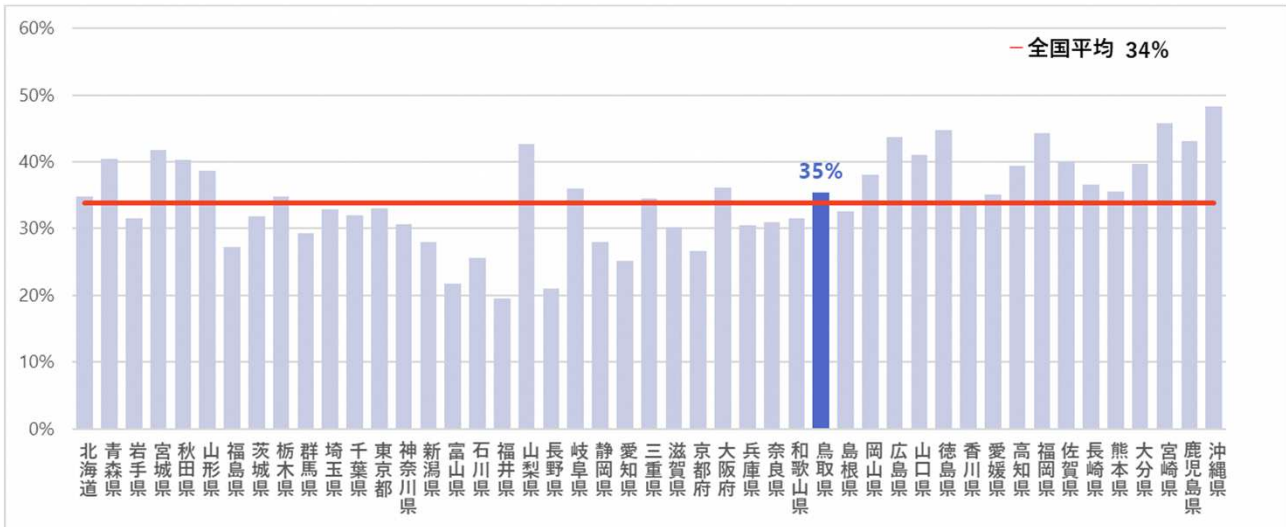
■ 急性上気道炎に対する抗菌薬処方患者割合



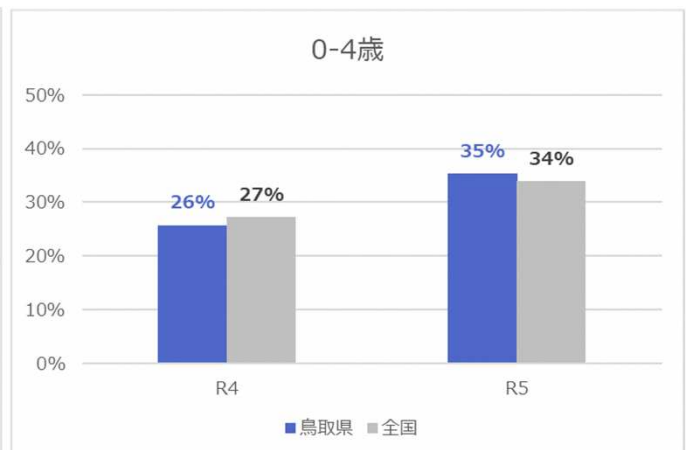
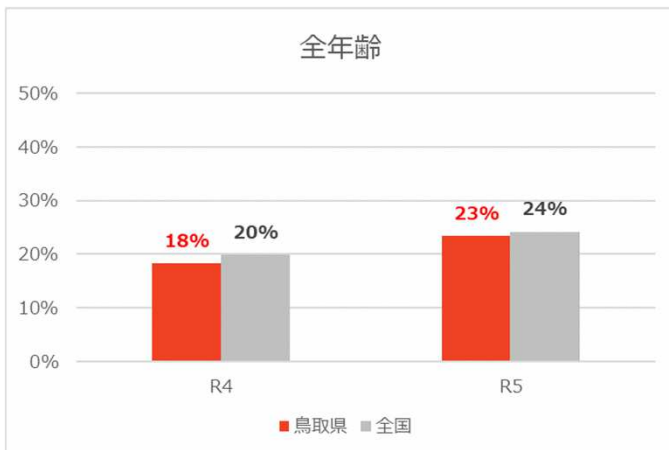
■ 急性下痢症に対する抗菌薬処方患者割合 全年齢（令和5年度）



■ 急性下痢症に対する抗菌薬処方患者割合 0～4歳（令和5年度）



■ 急性下痢症に対する抗菌薬処方患者割合

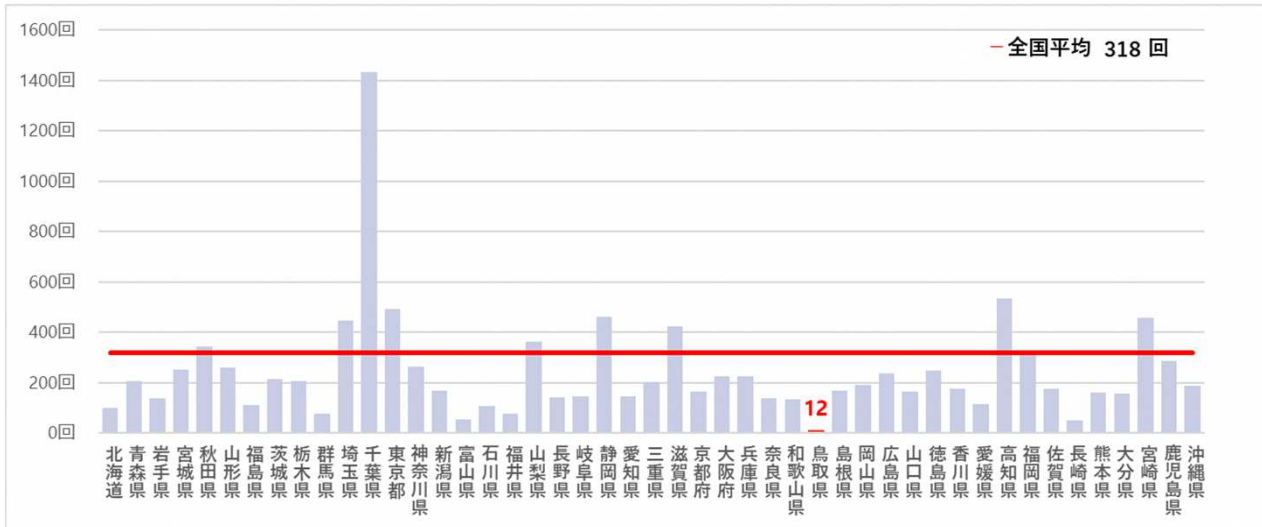


出典:NDB

(2) リフィル処方箋の活用状況

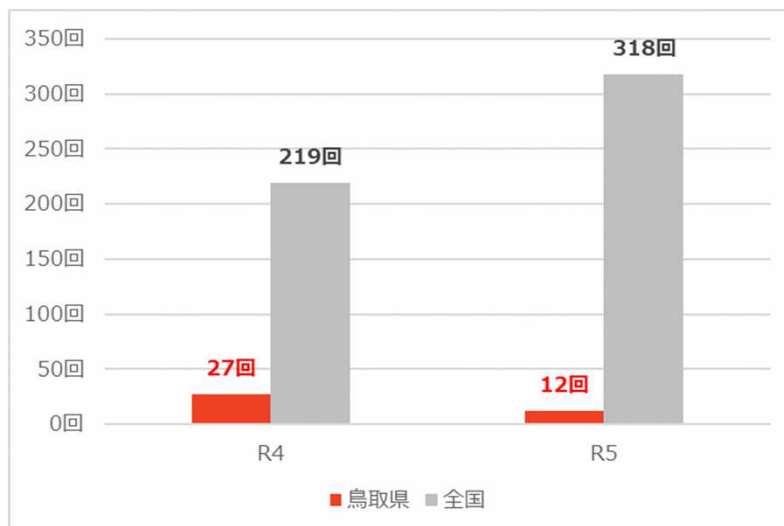
※リフィル処方箋・・・症状が安定している慢性疾患の患者が、医師の判断のもと1枚の処方箋を最大3回まで繰り返し利用できる仕組み

■人口10万人当たりのリフィル処方箋調剤料算定回数（令和5年度）



出典:NDBオープンデータ、e-Stat「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

■人口10万人当たりのリフィル処方箋調剤料算定回数

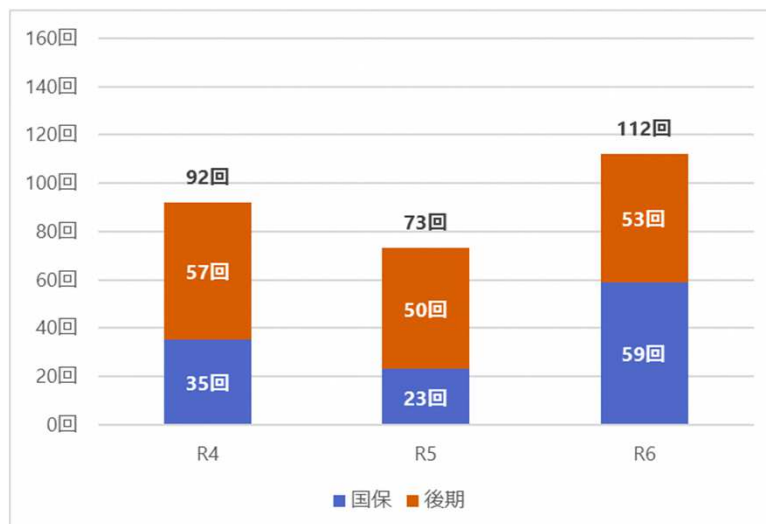


出典:NDBオープンデータ、e-Stat「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

国保

後期

■人口10万人当たりのリフィル処方箋調剤料算定回数

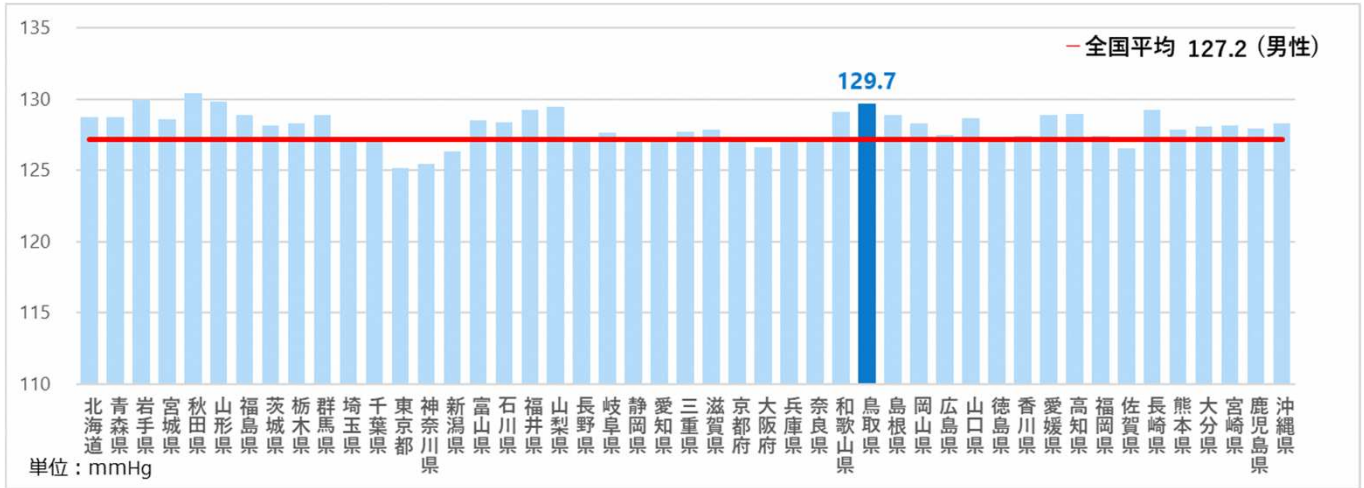


出典:KDBシステム突合CSVデータ

2. 健康保持の促進

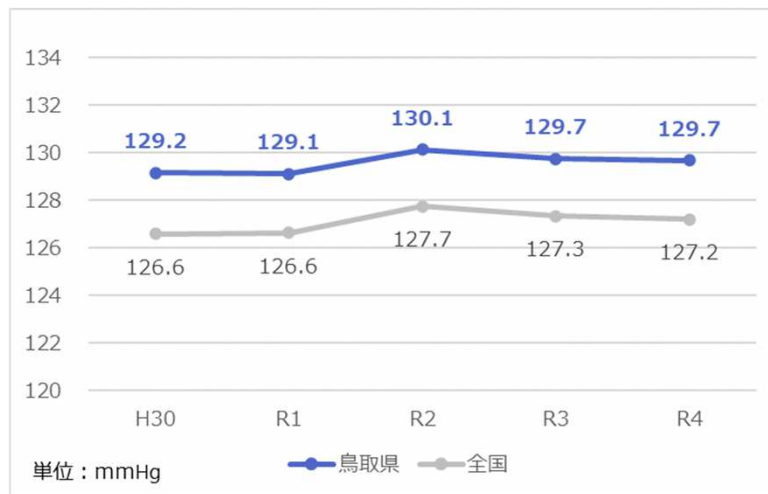
(1) 特定健診結果に基づく鳥取県の課題

■ 収縮期血圧の平均値 男性（令和4年度）



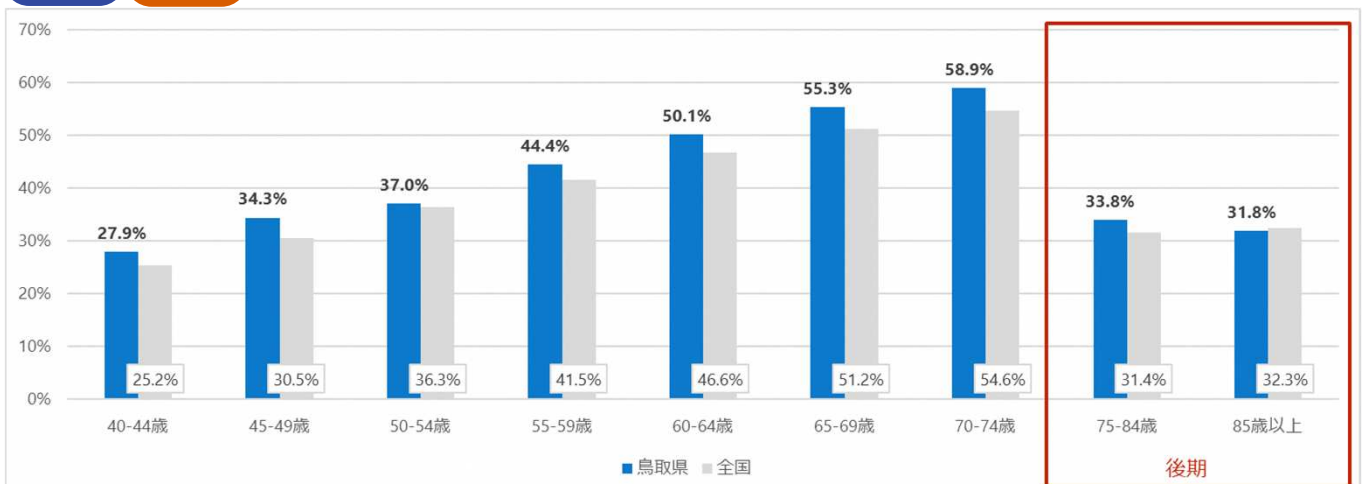
出典：NDBオープンデータ

■ 収縮期血圧の平均値 男性



出典：NDBオープンデータ

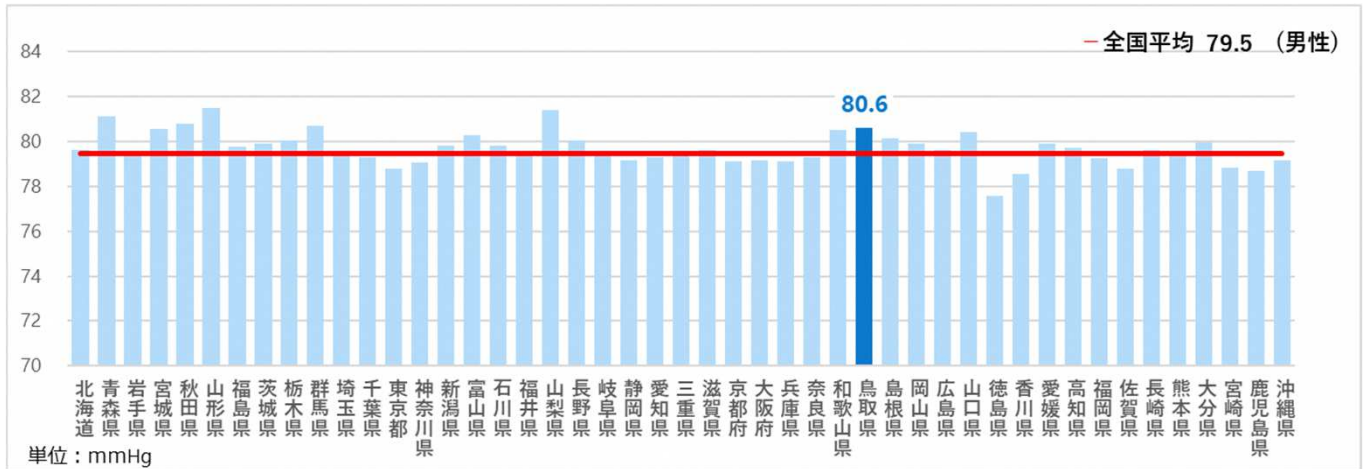
■ 性別・年齢階層別 収縮期血圧有所見者割合 男性（令和6年度）



※有所見者は、国保：保健指導判定値、後期：受診勧奨判定値で判定

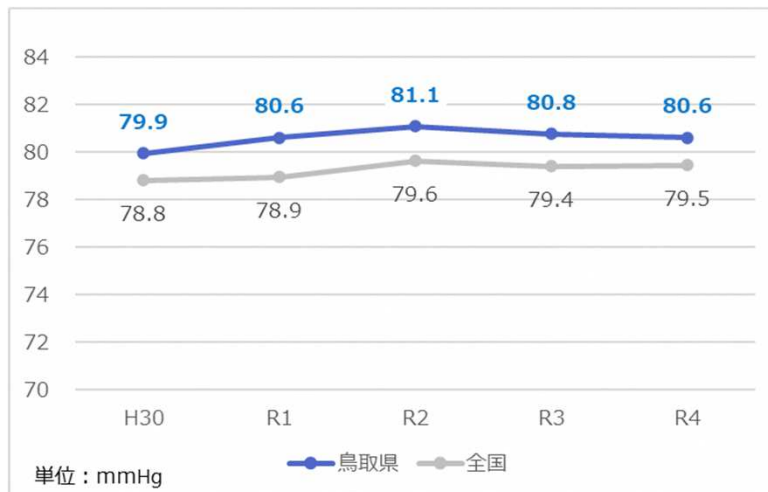
出典：KDBシステム

■ 拡張期血圧の平均値 男性（令和4年度）



出典：NDBオープンデータ

■ 拡張期血圧の平均値 男性

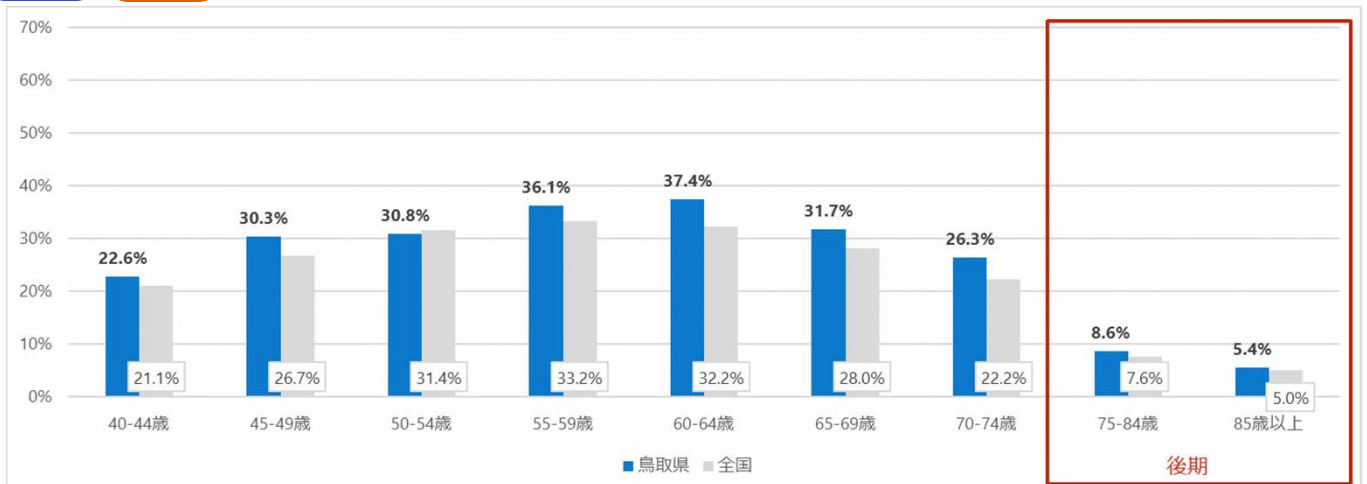


出典：NDBオープンデータ

国保

後期

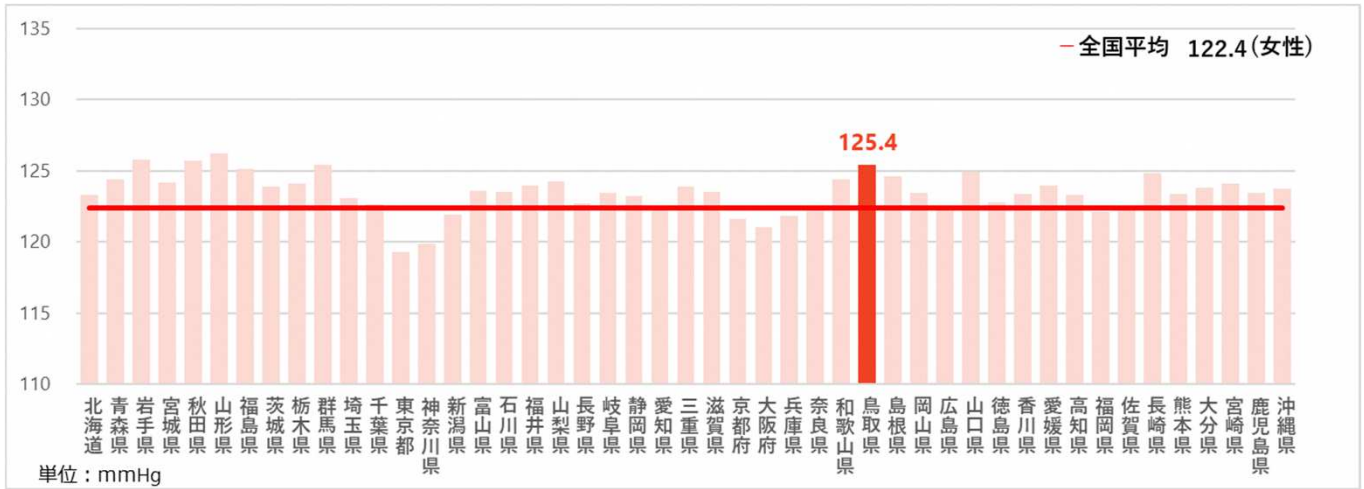
■ 性別・年齢階層別 拡張期血圧有所見者割合 男性（令和6年度）



※有所見者は、国保：保健指導判定値、後期：受診勧奨判定値で判定。

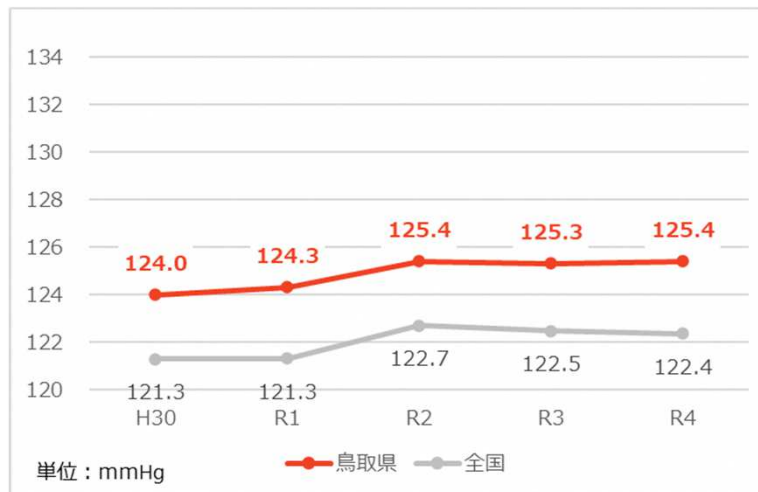
出典：KDBシステム

■ 収縮期血圧の平均値 女性（令和4年度）



出典：NDBオープンデータ

■ 収縮期血圧の平均値 女性

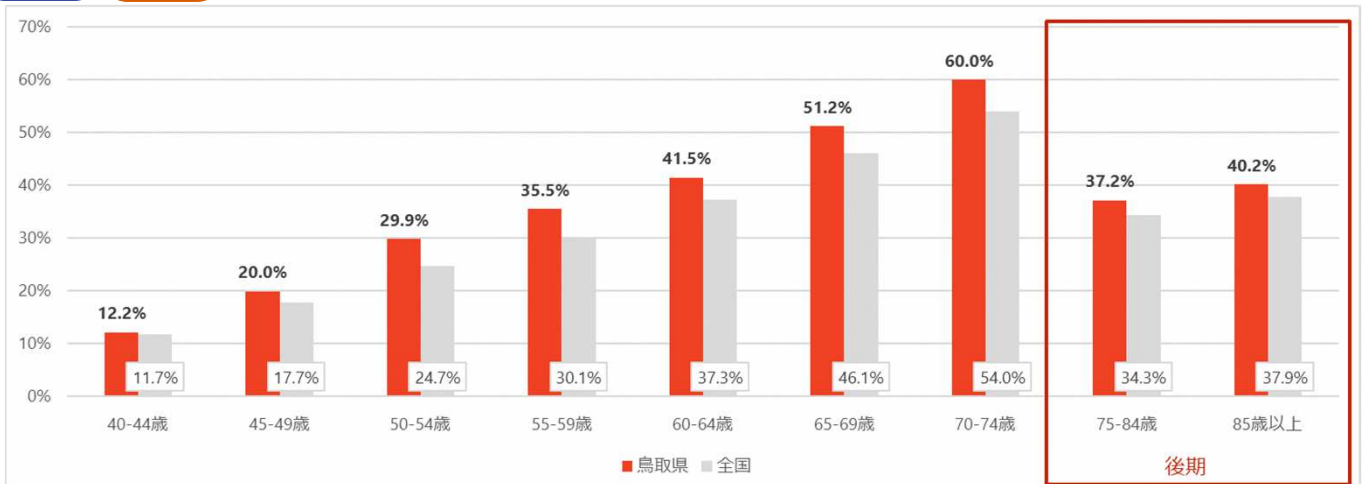


出典：NDBオープンデータ

国保

後期

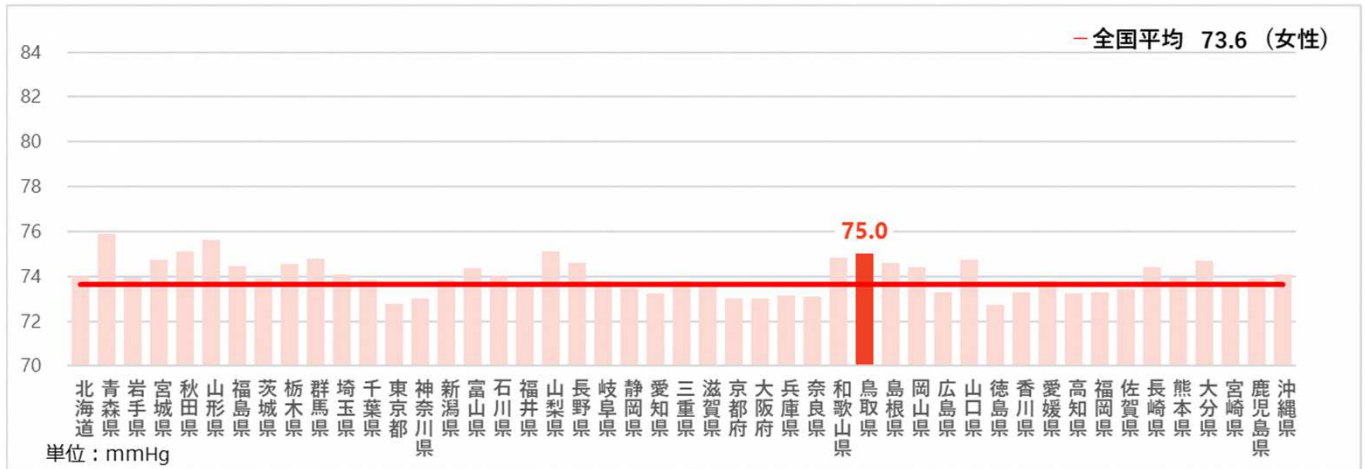
■ 性別・年齢階層別 収縮期血圧有所見者割合 女性（令和6年度）



※有所見者は、国保：保健指導判定値、後期：受診勧奨判定値で判定。

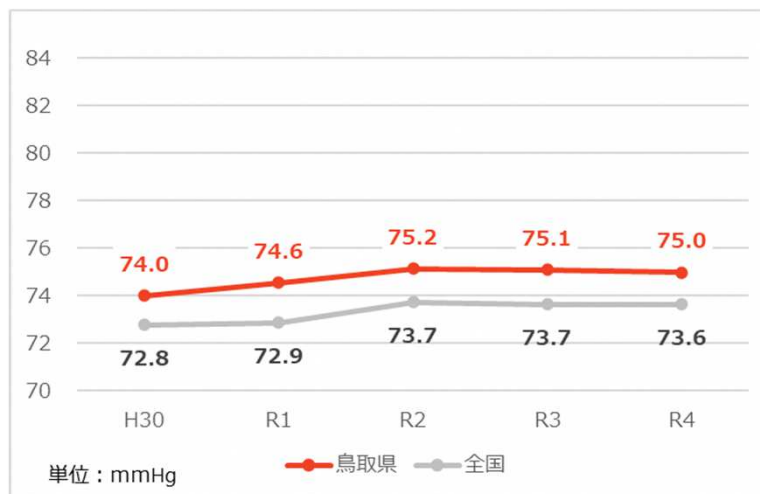
出典：KDBシステム

■ 拡張期血圧の平均値 女性（令和4年度）



出典：NDBオープンデータ

■ 拡張期血圧の平均値 女性

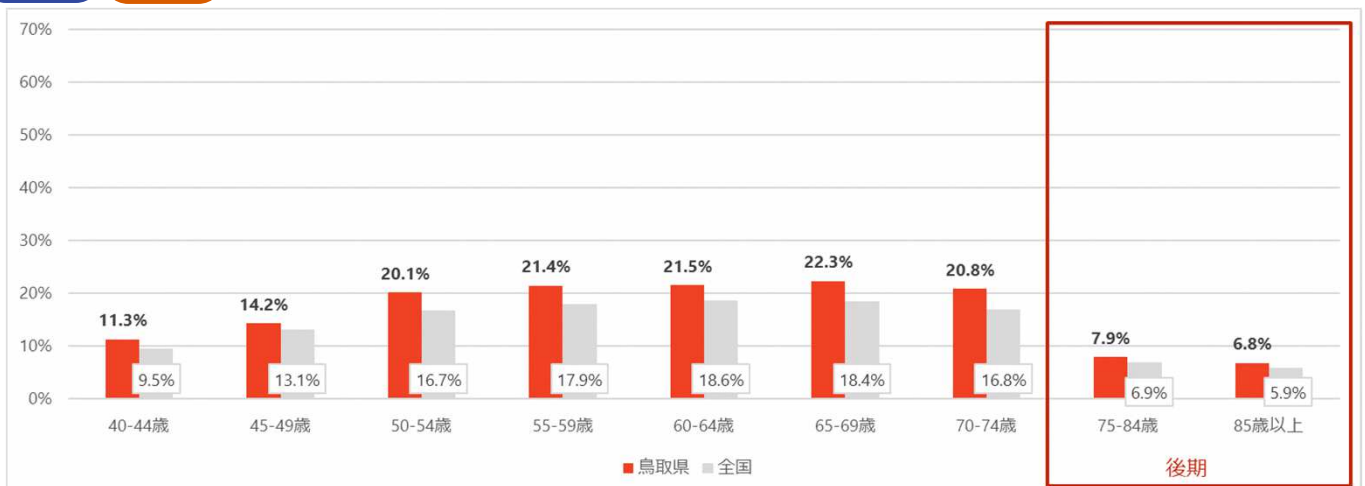


出典：NDBオープンデータ

国保

後期

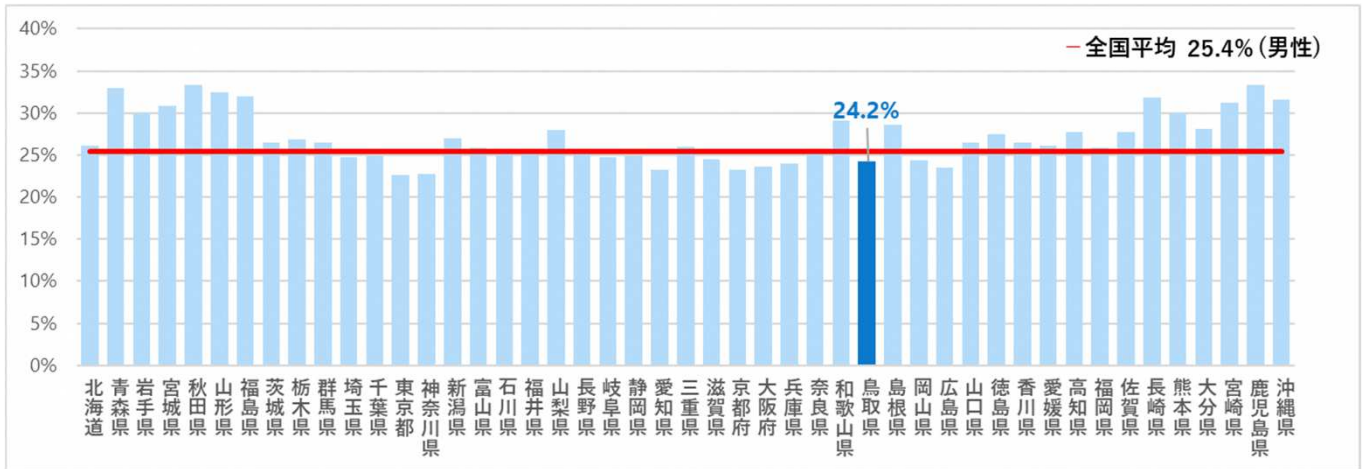
■ 性別・年齢階層別 拡張期血圧有所見者割合 女性（令和6年度）



※有所見者は、国保：保健指導判定値、後期：受診勧奨判定値で判定。

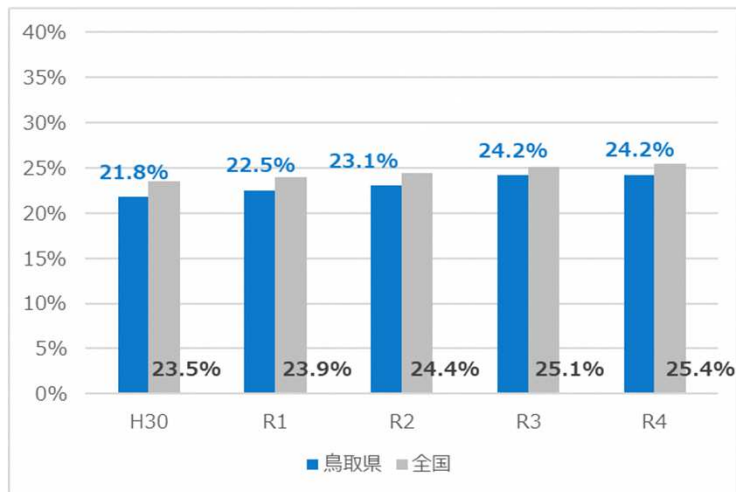
出典：KDBシステム

■ 血圧服薬者の割合 男性（令和4年度）



出典：NDBオープンデータ

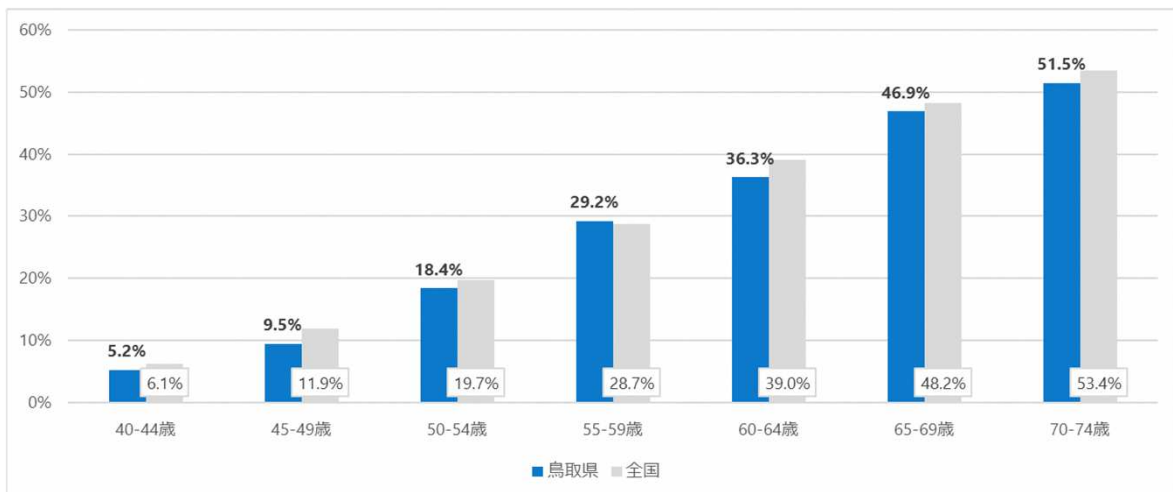
■ 血圧服薬者の割合 男性



出典：NDBオープンデータ

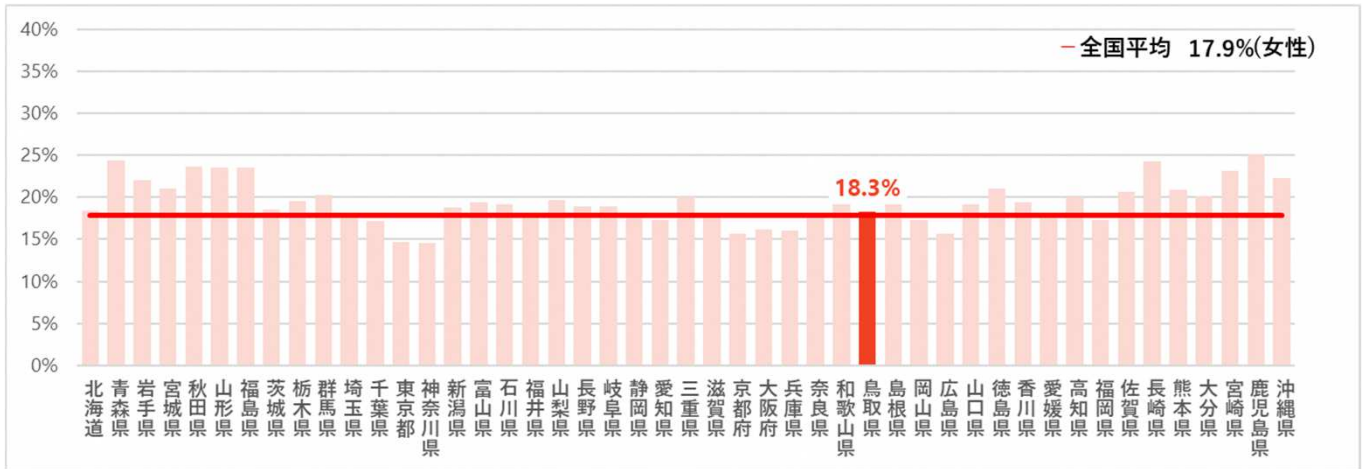
国保

■ 性別・年齢階層別 血圧服薬者の割合 男性（令和6年度）



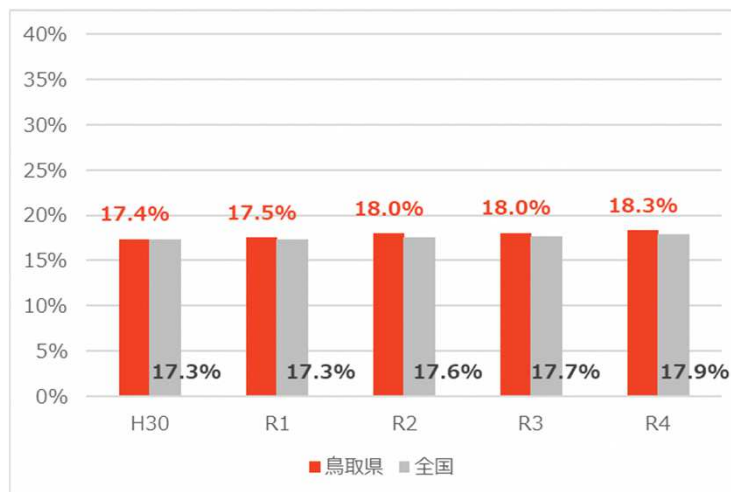
出典：KDBシステム

■ 血圧服薬者の割合 女性（令和4年度）



出典：NDBオープンデータ

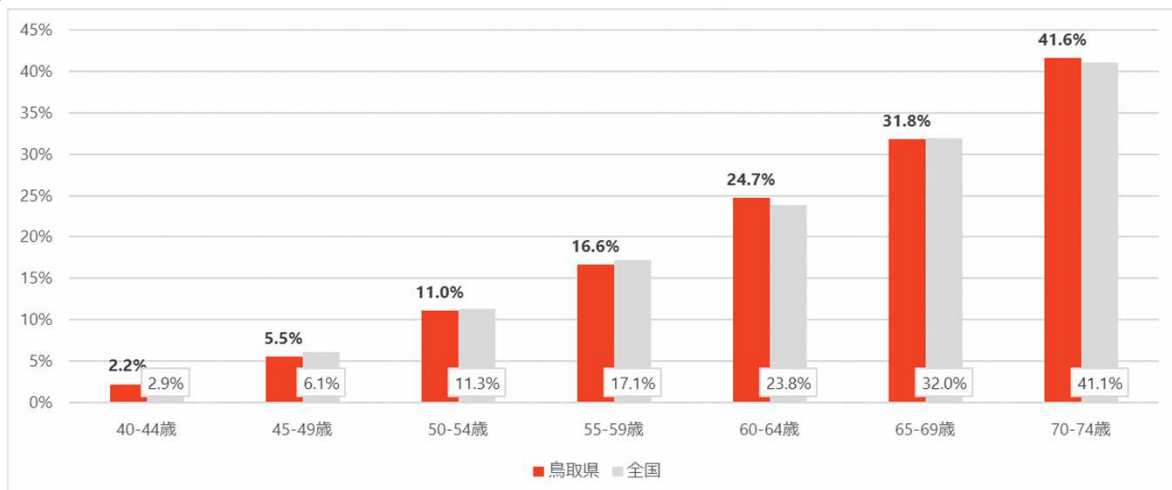
■ 血圧服薬者の割合 女性



出典：NDBオープンデータ

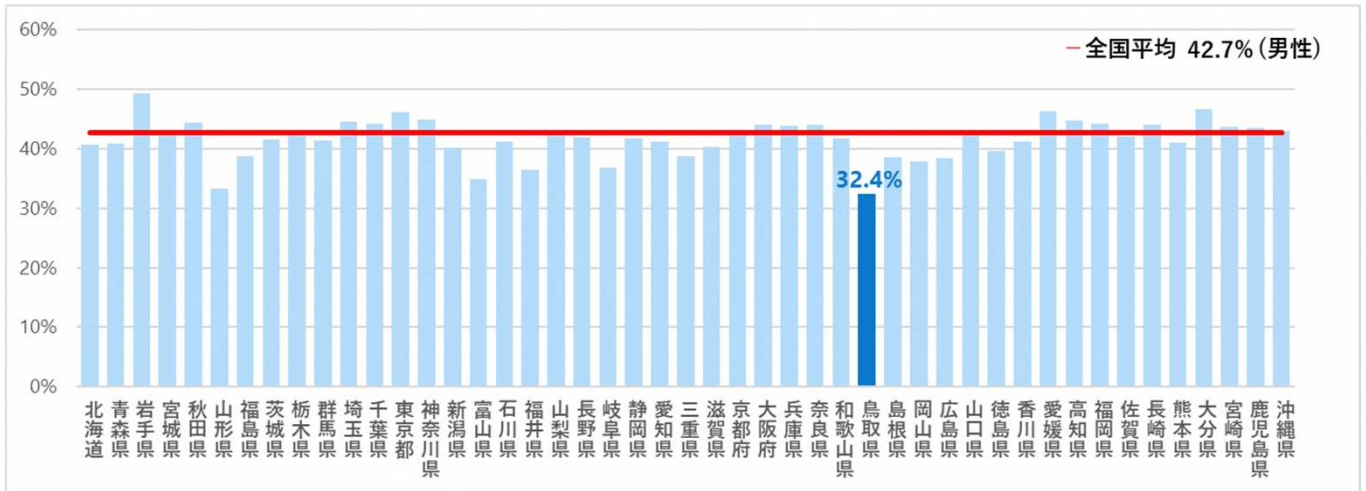
国保

■ 性別・年齢階層別 血圧服薬者の割合 女性（令和6年度）



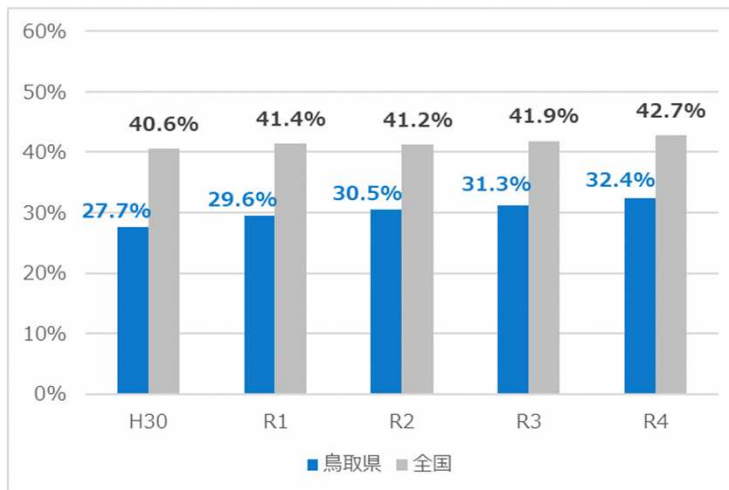
出典：KDBシステム

■ 特定健診質問票 運動習慣有の該当率 男性（令和4年度）



出典：NDBオープンデータ

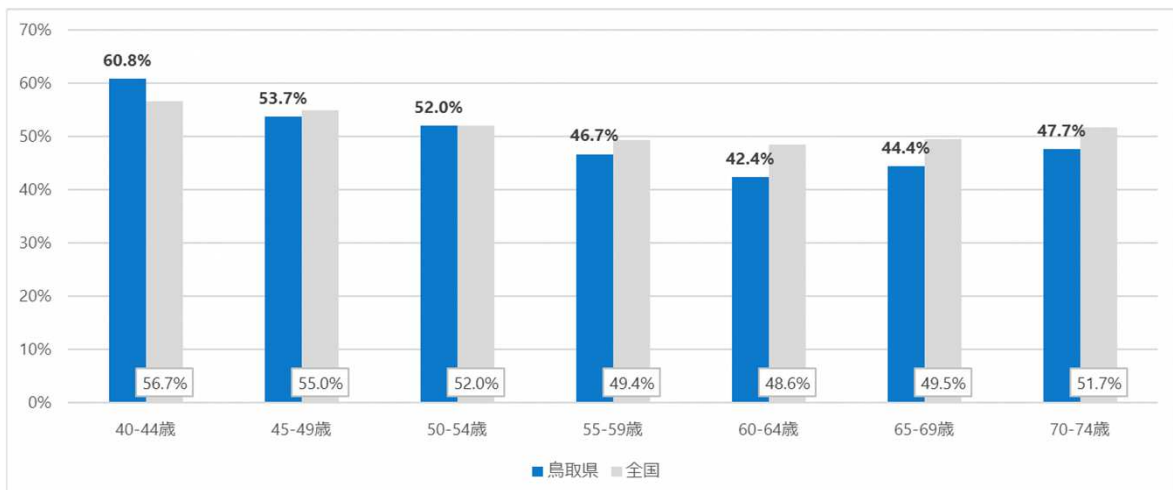
■ 特定健診質問票 運動習慣有の該当率 男性



出典：NDBオープンデータ

国保

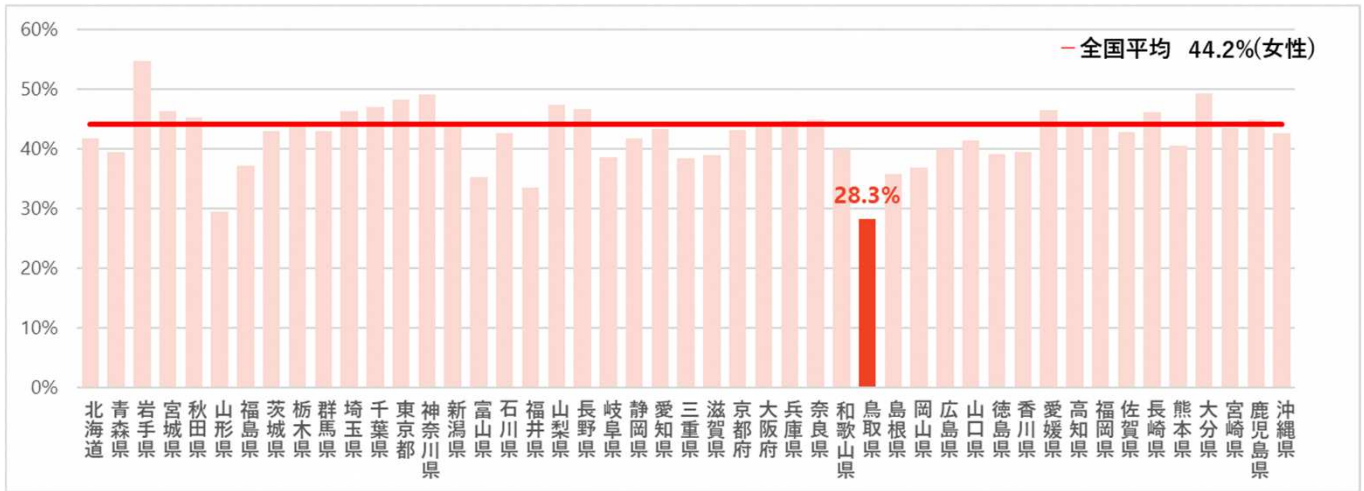
■ 性別・年齢階層別 運動習慣有の割合 男性（令和6年度）



※ 特定健診質問票「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している」に「はい」と回答した者を運動習慣有として定義

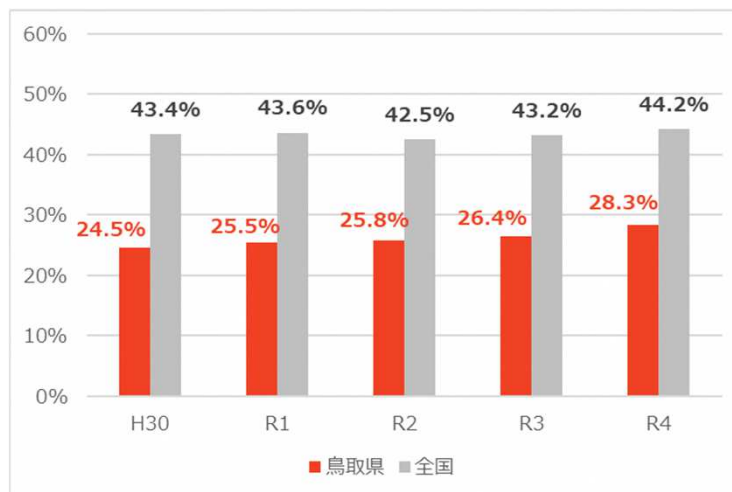
出典：KDBシステム

■ 特定健診質問票 運動習慣有の該当率 女性（令和4年度）



出典：NDBオープンデータ

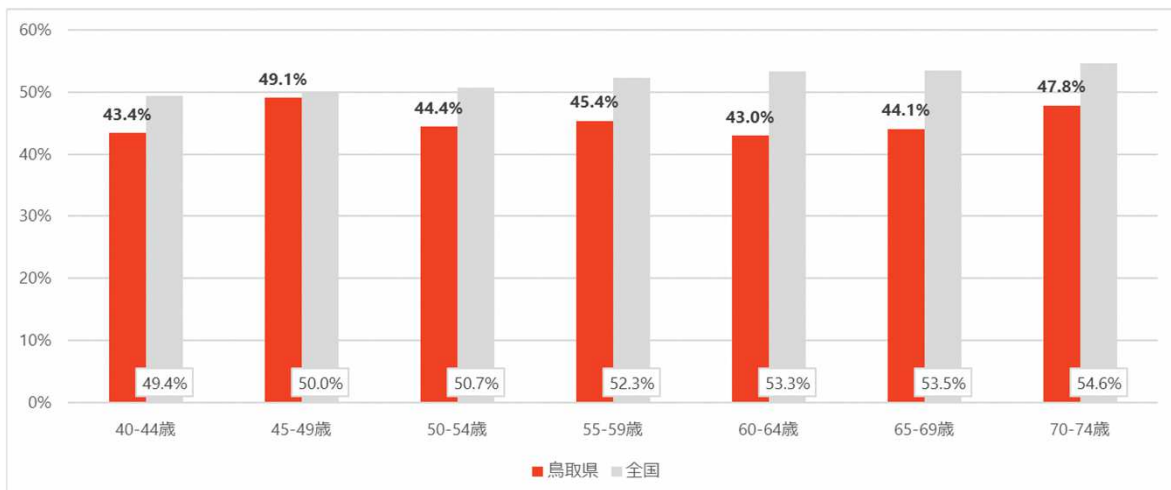
■ 特定健診質問票 運動習慣有の該当率 女性



出典：NDBオープンデータ

国保

■ 性別・年齢階層別 運動習慣有の割合 女性（令和6年度）



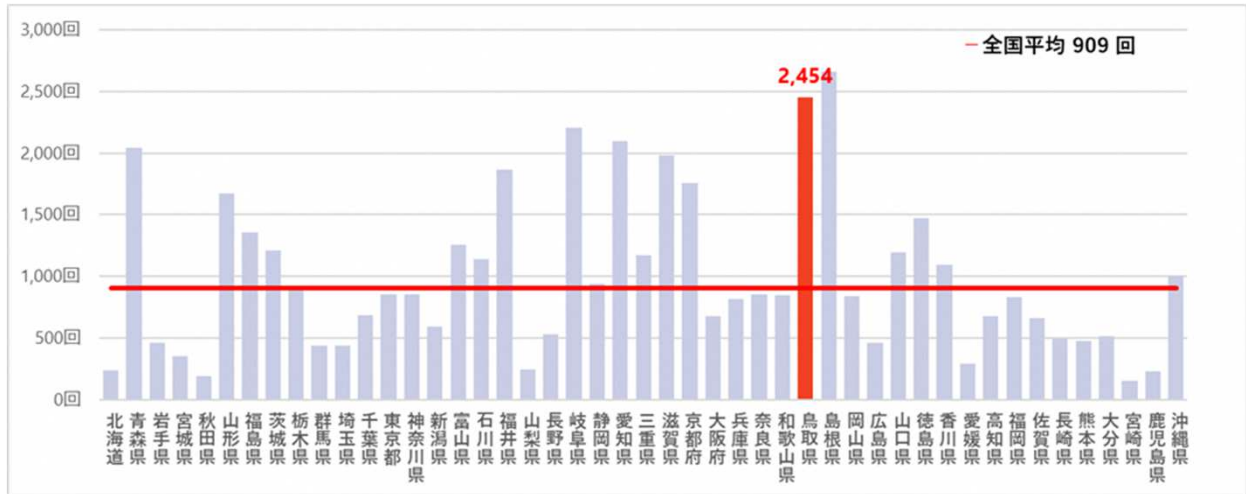
※ 特定健診質問票「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施している」に「はい」と回答した者を運動習慣有として定義

出典：KDBシステム

3. 医療の適正受診

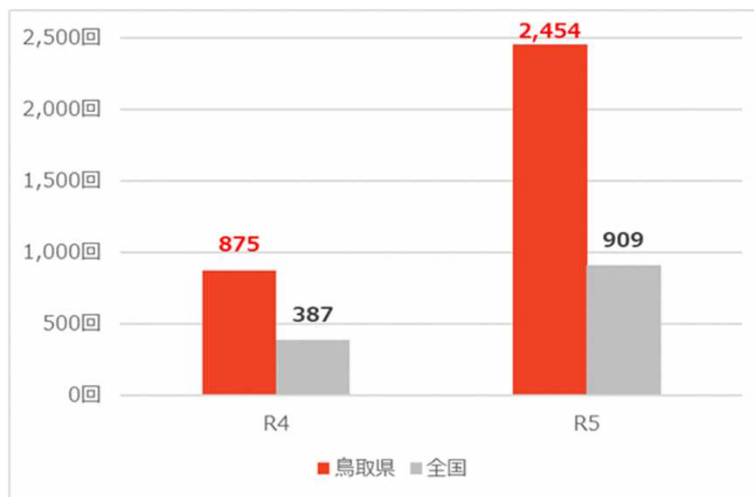
(1) 選定療養費 ※選定療養費…紹介状なしで200床以上の大病院を受診する際に算定

■人口10万人当たりの選定療養費算定回数（令和5年度）



出典:NDBオープンデータ、e-Stat「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

■人口10万人当たりの選定療養費算定回数

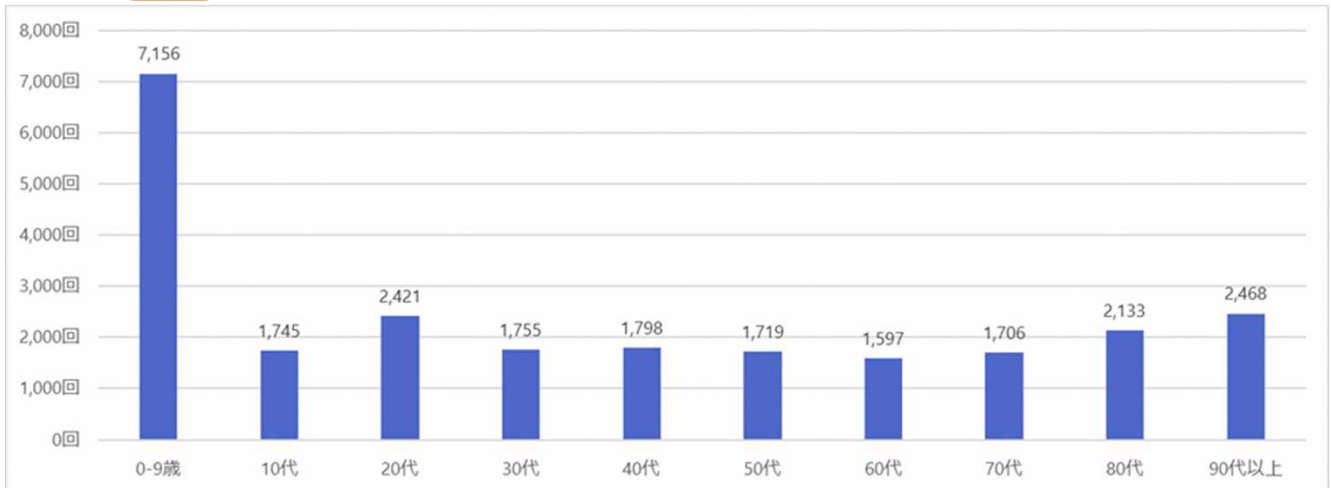


出典:NDBオープンデータ、e-Stat「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」
※令和4年度は10月から3月診療分（令和4年10月診療報酬改定）

国保

後期

■年齢階層別 人口10万人当たりの選定療養費算定回数（令和6年度）

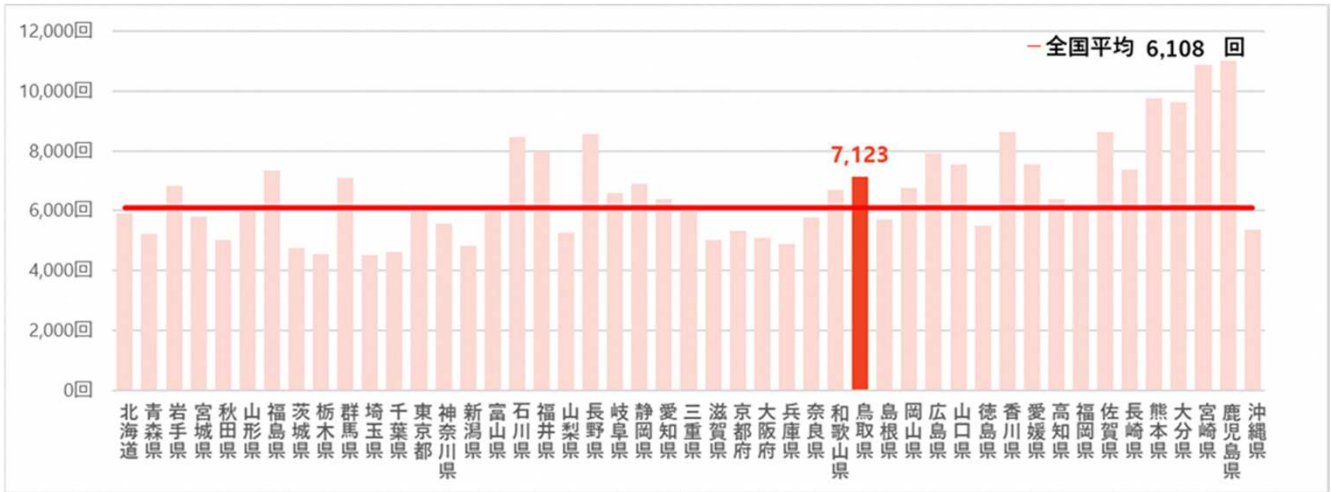


出典：KDBシステム突合CSV

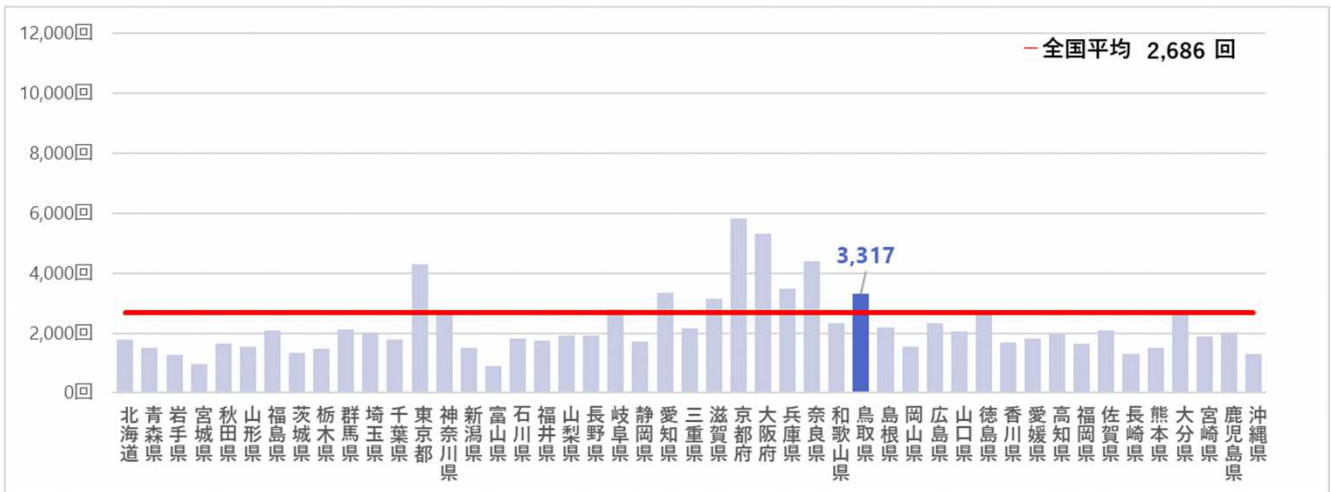
(2) 休日・時間外等の医療受診

※ 休日加算 ……通常の休日日に緊急の患者に対して受診した場合に算定
時間外加算 ……通常の診療時間外に診療を行った場合に算定

■ 人口10万人当たりの休日加算算定回数（令和5年度）



■ 人口10万人当たりの時間外加算算定回数（令和5年度）



■ 人口10万人当たりの休日・時間外加算算定回数



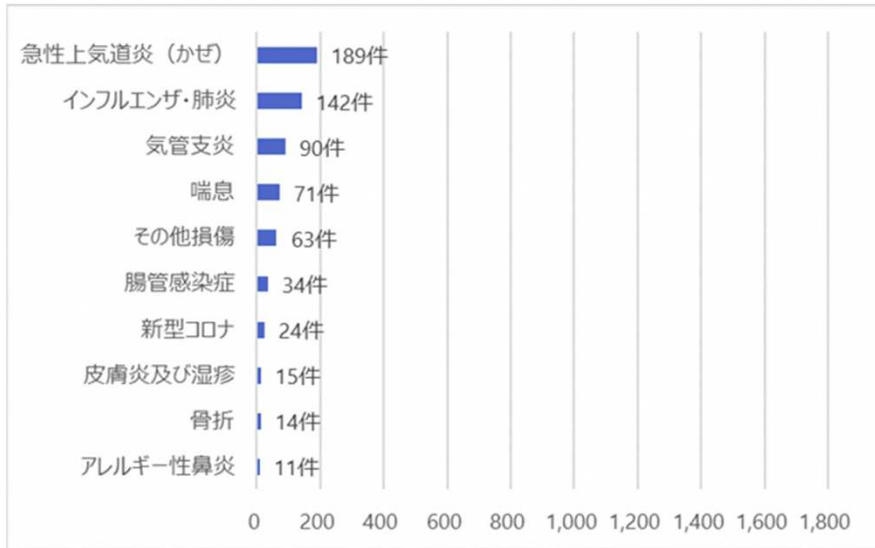
出典:NDBオープンデータ、e-Stat「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

国保

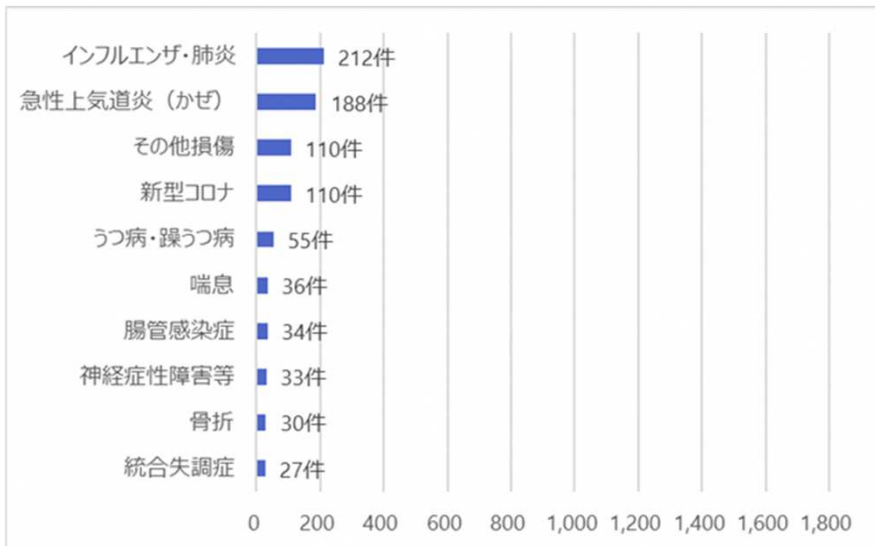
後期

■ 疾病分類別休日・時間外加算算定レセプト件数（上位10位）（令和6年度）

■ 0～19歳



■ 20～59歳



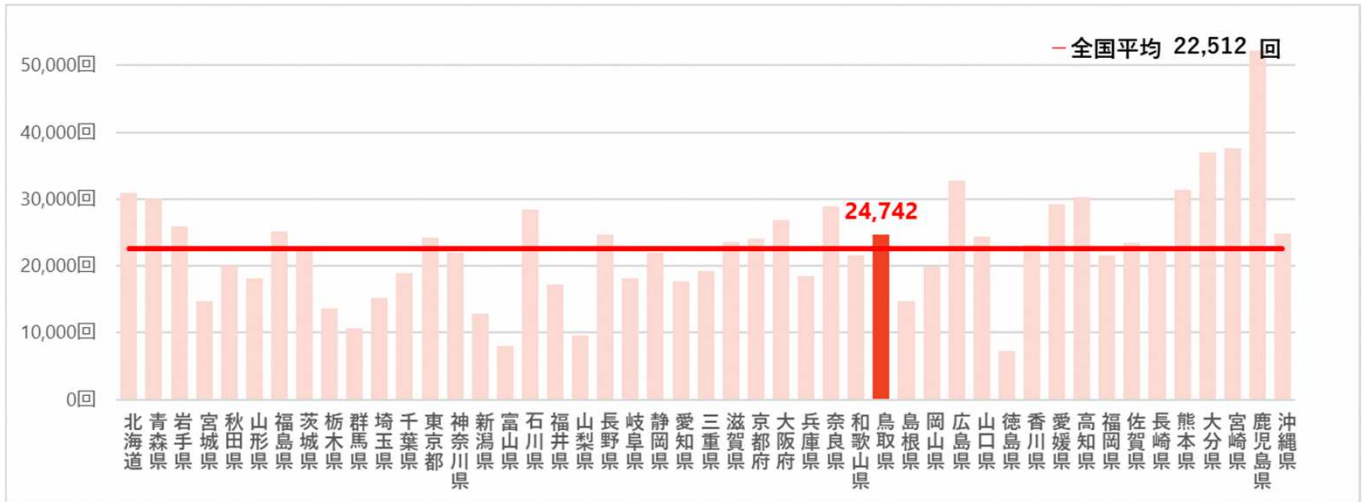
■ 60歳以上



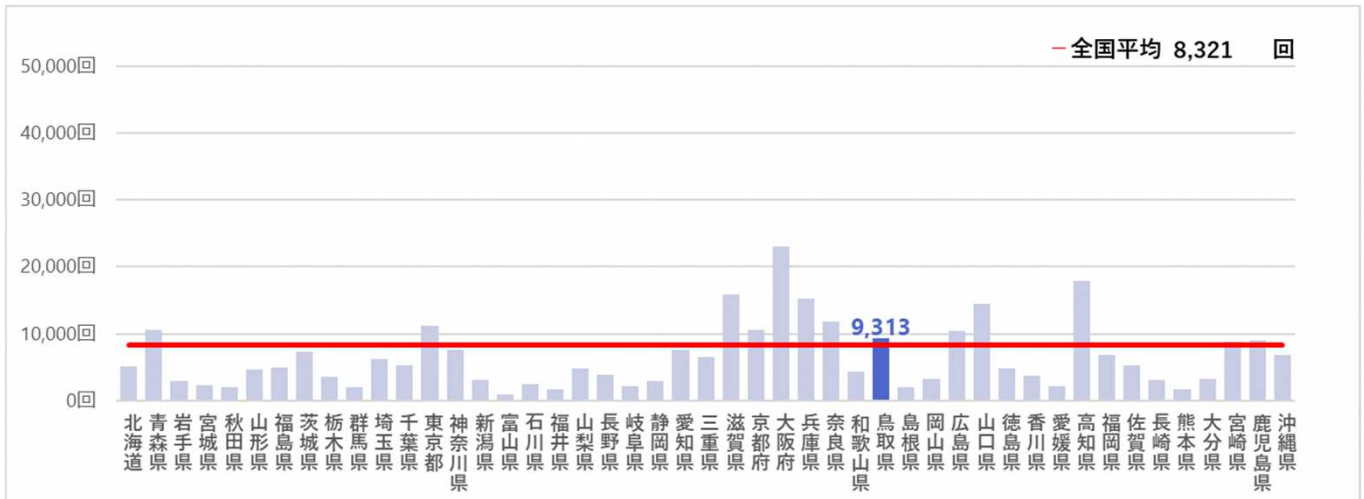
出典：KDBシステム突合CSV

(3) 子どもの医療受診状況

■ 人口10万人当たりの乳幼児休日加算算定回数（令和5年度）



■ 人口10万人当たりの乳幼児時間外加算算定回数（令和5年度）

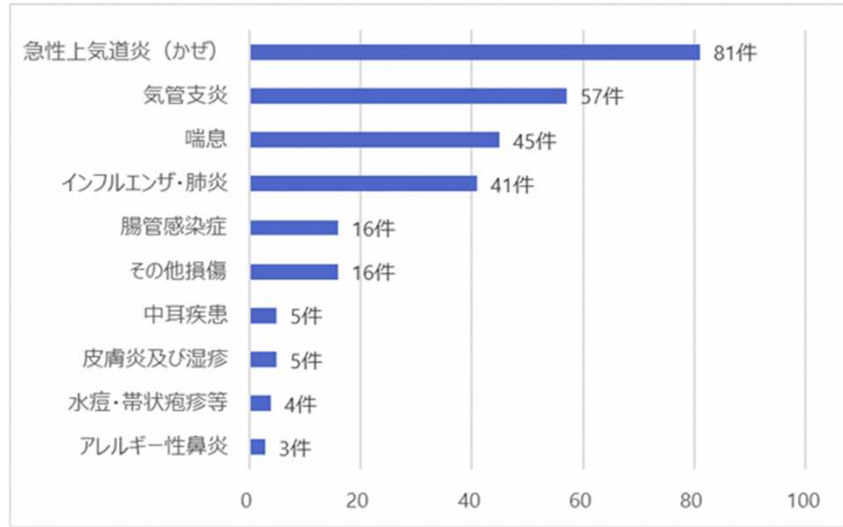


■ 人口10万人当たりの乳幼児休日・時間外加算算定回数



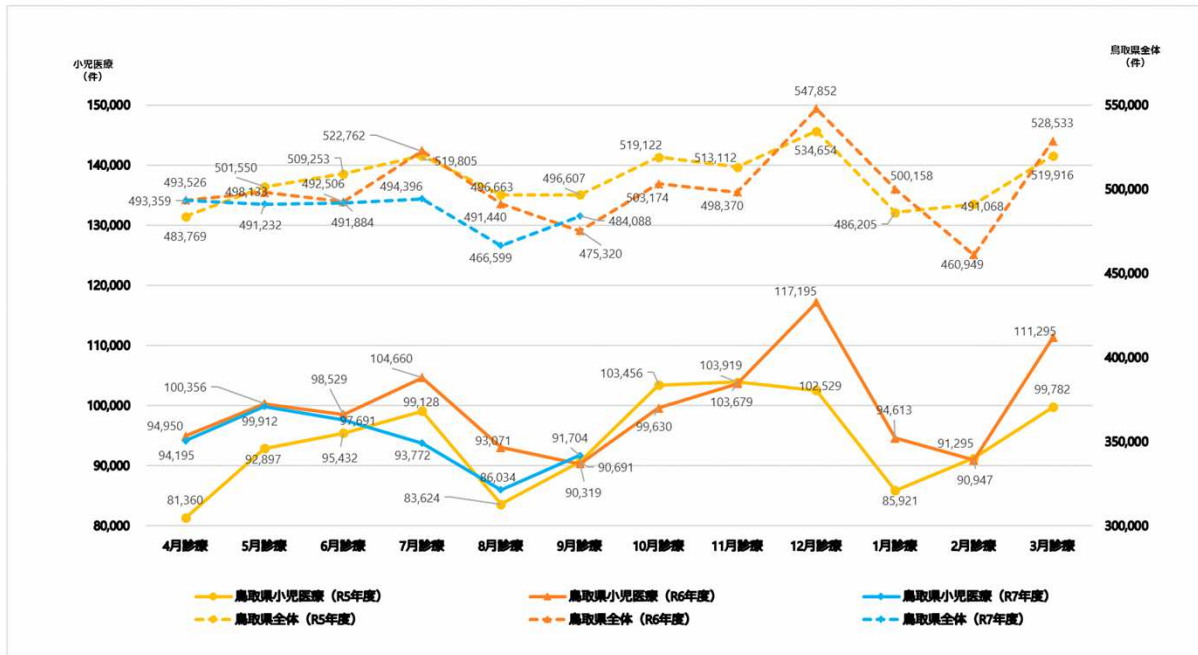
出典:NDBオープンデータ、e-Stat「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

■ 疾病分類別 乳幼児休日・時間外加算算定レセプト件数（上位10位）（令和6年度）

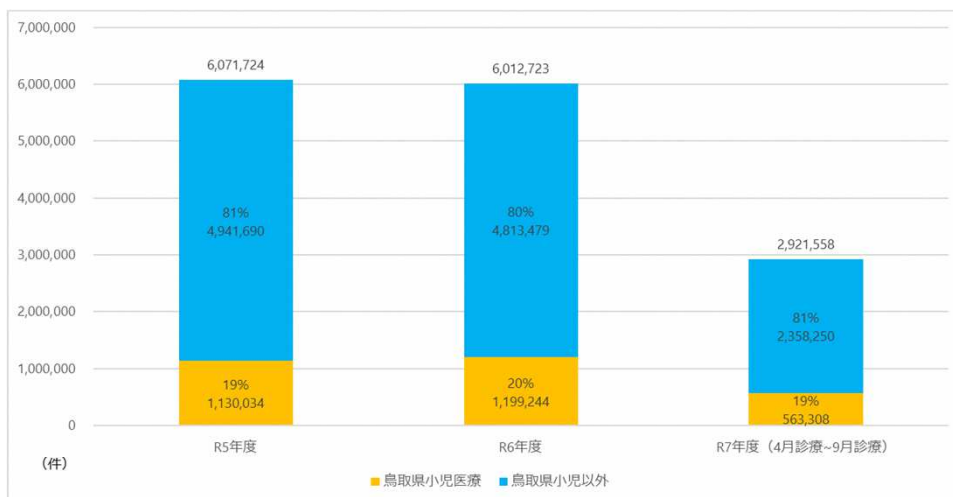


出典：KDBシステム突合CSV

■ 小児医療のレセプト件数の推移（月別）



■ 小児医療のレセプト件数の推移（年度別）



出典：国保・社保医療レセプトデータ（社会保険診療報酬支払基金HP）

<p>医療資源の効果的・効率的な活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 急性上気道炎・急性下痢症に対する抗菌薬処方患者割合は、全年齢で見ると全国より低いが、令和5年度0-4歳の急性下痢症に対する患者割合は全国よりやや高い。 人口10万人当たりのリフィル処方箋調剤料算定回数は2年連続全国より大幅に低い。国保・後期の算定回数は令和6年度にやや増加している。リフィル処方箋の認知度向上に向けた周知・啓発が必要であると考えられる。
<p>健康保持の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 収縮期血圧・拡張期血圧の平均値は男女ともに全国より経年的に高い。国保・後期の有所見者割合は、女性はすべての年代において全国より高く、男性は85歳以上の収縮期、50-54歳の拡張期を除く年代で全国より高い。若年層から高齢者層まで継続的で一貫的な対策が必要である。 男性の血圧に関する服薬があると回答した者の割合は、経年的に全国より低い。血圧が異常値であっても医療を受診していない「異常値放置者」又は継続的な治療を自身の判断で中止する「治療中断者」が多い可能性がある。また、服薬する必要はない「高血圧予備群」も多い可能性があると考えられる。医療受診を促す層、生活習慣の見直し等により現状の維持・改善を促す層、それぞれにターゲットを絞ったアプローチを実施することが考えられる。特に男女ともに40-60歳までの世代で割合が低く推移しており、服薬するほど重症化していない予備群を含めて若いうちから幅広い対策が考えられる。 運動習慣有の該当率は、男性では経年的に全国より10ポイント程度低く、女性では16ポイント程度低い。令和6年度の国保の女性においては、どの年代においても全国より低い。地域全体で運動習慣の重要性を啓発する必要があると考えられる。
<p>医療の適正受診</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人口10万人当たりの選定療養費算定回数（紹介状なしでの200床以上の大病院受診）が、全国より大幅に高い。適切な受診行動を啓発する必要があると思われる。 人口10万人当たりの休日・時間外加算の算定回数は全国よりやや高い。また、休日加算の算定回数は経年的に全国より高い。0-19歳では、「急性上気道炎（かぜ）」、「インフルエンザ・肺炎」、「気管支炎」が上位を占めた。20-59歳では、「インフルエンザ・肺炎」、「急性上気道炎（かぜ）」が上位2位を占め、「うつ病・躁うつ病」が5位であった。60歳以上では「心疾患」が1位であった。 人口10万人当たりの乳幼児休日・時間外加算算定回数は、全国よりやや高い。「急性上気道炎（かぜ）」、「気管支炎」がレセプト件数の上位を占めている。 鳥取県の小児医療のレセプト請求件数は、令和6年度、7年度（上半期）はほぼすべての月で令和5年度を上回っているが、令和7年度（上半期）は9月診療を除き、令和6年より下回っている。令和6年度の小児以外のレセプト件数が減少しているのに対し、小児医療レセプト件数はやや増加傾向にある。小児医療のレセプト件数は、感染症等の要因でも増加することが考えられるが、無償化されたことを要因とした著しい件数の増加は医療費の増高や医療提供体制の逼迫に繋がる恐れがあるため、今後も推移を注視して必要な情報を周知していく必要がある。